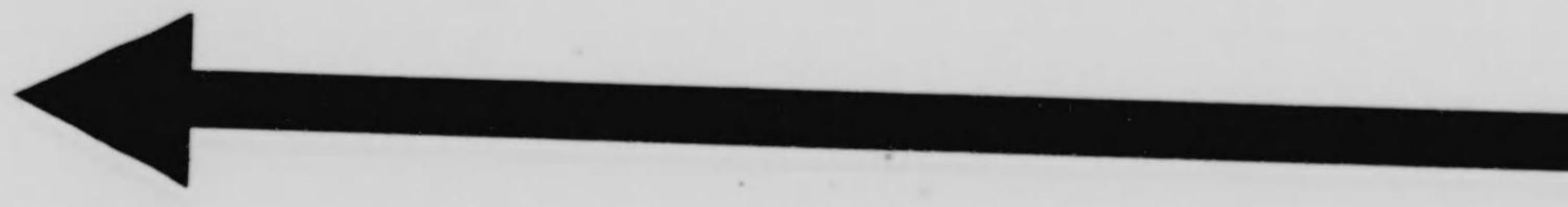


364
107



始



上野名勝誌

勢多郡

鑛泉……………五〇

牧場……………五五

瀑布……………五六

神社佛閣……………五七

名所古跡……………八四

上野名勝誌 第貳編

前橋市 關口照宰編

○總論

前橋の地たる國の東南部にありて北東南の三方は勢多郡に接し西は利根郡を境に群馬郡に對し東經百三十九度餘北緯三十六度廿余秒なり
東北より遙かに西方へ山岳相連なり巍々として聳ゆるは赤城山西北には榛名山の高峰天を摩して相對し淺間の噴煙は濛々として天に冲するを見るべく洋として西涯を環れるは利根の巨流なり廣瀨川は市内の中央を貫流し桃木川は東端を走り各支流は市内各所縦横に通じて工業界に補益す、龍海院の伽藍東照宮舊城跡附近を徜徉せば人をして史的事跡を感發せしむるもの

あるべく若夫れ閑餘散策を試みんか龍藏寺の太子木曾神社冥福を祈願する
 の人にあらざるも其四時の勝概寧ろ行樂に値せざらんや温泉には伊香保澤
 渡、四万共に電車馬車の便あり安座して其宿に達するを得氣候は寒暑共に
 嚴ならずと雖も時に赤城の吹嵐し烈き事あり、前橋は我國輸出品の首位を
 占むる生糸の産出地として全國に冠たる尤も古き歴史を有する上州の首府
 にして數百の生糸家機械場の煙突は林の如く屹立し故に縣下の生産は勿論
 各縣下より集散の多大なるは近縣に其比を見ざるべし

●土 地

地勢 概ね平坦にして東南北の三面は田畠相連なり沃野桑園あり其間各種
 の大工場散在し赤城榛名の累巒を望み西一面は利根川を隔て、群馬郡村落
 の沃野廣袤たるを見る

面積 東西三十二町 南北一里二十三町

市街及人口 市内四十二ヶ町に分つ即ち左の如し

- 曲輪町 南曲輪町 石川町 堀川町 田町 連雀町 本町 相生町 田中町
 - 片貝町 中川町 新町 百軒町 大塚町 芳町 萱町 榎町 紺屋町
 - 桑町 横山町 立川町 堅町 北曲輪町 柳町 神明町 向町 細ヶ澤町
 - 小柳町 一毛町 諏訪町 清王子町 才川町 國領町 萩小路 岩神町
 - 紅雲町 前代田町 市ノ坪 宗甫分 六供 天川原 天川町
- 人口と戸數は年々増殖す 戸數約九千 人口五万餘

●沿 革

起原 鴻荒の事は素より邈として知るべからず古書により考証すれば和名
 抄に驛家、利刈(止加利)の郷名あり利刈を前橋邊なりとす北に駒か澤東に

一毛村の地名は馬に因める名稱より推考するに古昔利刈の牧は此邊なるべし古來馬牧の名地たりしに相違なく延喜式にも上野國に九牧の名ありて利刈、有馬島、新屋、治尾、久野、市城、拜志、鹽山、大籃の名見ゆ又拾芥抄に利刈は利處の牧とあり上野三碑考には厩橋は驛橋の意ならんと云ひ諸説あり按に和名抄の利刈を秣飲の場たりしと云ふを考れば利根右岸の地低地の處秣飲に便利ありし地にて惣社に通ずる車川（今の利根川）に架せる橋名を厩橋と稱へしに因りて起りし名稱にはあらざるが、此地中古以降厩橋と稱せしが徳川氏の世城主酒井侯前橋と改稱し明治維新の後前橋町と稱し來りしが明治廿五年四月一日東群馬南勢多兩郡より一部を割て前橋市と改稱せり

本市維新前は松平大和守十七万石の城地にして寛延年間より累代在城せしが明和年間利根川出水の砌城礎崩壞の爲め川越に移り一旦廢城に歸せしが慶應三年再築きて之に移り廢藩の時に及へり、明治二年前橋藩と改め四年七月廢藩置縣に依り前橋縣となり全十月群馬縣の治下とあり六年熊谷縣の管轄ありしが九年再び群馬縣となる二十二年近村併合して前橋町となり廿五年四月を以て市制施行となりたり時に戸數五千五百八十五戸人口三万七千六百一なりしが三十四年上川淵村の大字を編入し年々膨脹の結果戸口共増加し今日の繁榮を見るに至れり

○商工業及交通

前橋に於ける主たる商業は生糸なりとす生糸の昂低は前橋の景氣如何を卜するに足る此生糸繭の生産は上古より發達し天和二年酒井河内守の時生糸市場を本町に開き四九の日を以て開市し今日に至る安政六年横濱の生糸問

屋中井重兵衛方にて前橋の人道具屋又藏ある者佛國二十番ロレルの手代に始めて賣買したるを嚆矢とす明治三年藩士速水堅曾氏粗製濫造を防ぐ爲め瑞西人ミウラー氏を教師に招き細ケ澤町に六人繰の製糸場を設立し後岩神村に木製六人取の器械を据付たり之れ本邦に於ける製糸改良者先驅なりとす時に九月廿五日なり翌年十月前橋製糸所と改稱せしが幾干もなく速水氏休業し明治十年藩士深澤氏等速水氏と協力一番組なる製糸社を設け桐華組と稱す次で高須泉平氏等二番組とて廣瀬組を組織す即ち交水社の前身なり十一年 天皇陛下東北御巡幸の際精系原社に御立寄あらせられ社長深澤氏を行在所に召され金百圓を下賜さる前橋製糸の名譽と云ふへし、繭生糸の取引は各府縣は勿論横濱に於て直接間接に外人を相手とせるを以て常に活氣を帯ひ金融又滑かなり生産時期に際して従事せる商人は舉止敏捷動作活

潑なる状恰も軍人の戰に對するが如し製糸に次ぐの産物として織物、眞綿、蛹肥料、鯉の類多々あり

機業 織物としては伊勢崎、桐生に及はざれ共近來着眼する者讀出し前橋組を組織し一部となりて伊勢崎同業組合に加入し追次發展を講じつゝあり

銀行會社 市内に於ける銀行會社を擧ぐれば左の如し

群馬縣農工銀行(本町) 株式會社三十九銀行(本町)

株式會社上毛物産銀行(本町) 上毛貯蓄銀行(紺屋町)

前橋商業銀行(一毛町) 第二銀行前橋支店(本町)

明治商業銀行前橋支店 群馬貯蓄銀行(堅町)

不動貯金銀行前橋支店 八千代銀行代理店

日本晝夜貯蓄銀行出張所 十四銀行代理店

利根發電株式會社

株式會社前橋鐵工所

上毛印刷株式會社

合名會社竹内商店

合名會社須田製糸所

合資會社清水井商店

ライジंकサン石油會社出張所

教具製作株式會社

上毛倉庫株式會社

株式會社前橋座

群馬製藥株式會社

合名會社龜田屋商店

合資會社前橋輸出品製作所

內國通運會社前橋支店

合資會社龍興社

合資會社關東電氣商會

交通 兩毛官線は市の南部を貫通し電車は停車場より市中を通じて澁川、伊香保に達し大胡行並に駒形方面高崎方面玉村方面等四通八達孰れも日々數回馬車の往復あり縣道皆平坦にして交通至便なり貨物運送業者は大小六

店ありて日々の取扱高實に夥し

○教 育

群馬縣立師範學校 明治六年二月の創立にして八年十月縣廳と共に高崎より移轉し最初紅雲分に建つ十二年十二月曲輪町に校舍新築せしが四十三年共進會の建築敷地全部を買收して増築現下の清王寺町に轉ず附屬小學校ありて校舍擴大諸般の設備完全せり

縣立女子師範學校 明治三十四年十一月設立認可を得卅五年四月創立全十月清王寺の新校舍に移轉す敷地約一万坪を有し附屬小學校あり

縣立前橋中學校 明治十年に前橋中學校開設以來興廢數次本校は十二年六月の創立にして二十年十二月石川町の現校舍造築せらる敷地八千六百坪弱なり

市立小學校 桃井尋常(連雀町)中川尋常(中川町)敷島尋常(國領町)久留万尋高(前代田町)實業補習學校(神明町)等なり

共愛女學校 明治二十一年深澤氏外數名の創立にて前橋英和女學校と稱せしが後共愛と變更せるものにて縣下女子高等教育として尤も古き歴史を有せり、岩神町にあり

明治裁縫女學校 田中町にあり最初上毛裁縫專修所と稱し明治廿九年の創立にして三十三年五月今の名に改む規模亦大に寄宿舎の設あり校長鈴木たま子なり 其他曲輪町に集成學館あり 本町裏に前橋裁縫學校あり 鈴木裁縫學校 和洋裁縫學校 前橋裁縫淑女學校等あり
 教育會 上野教育會は事務所を曲輪町に置き全縣下の教育機關として明治十九年の創立

圖書館 前橋市役所裏門側邸内に大正五年新築開館せらる規模宏大と云ふ可らずと雖も諸事整頓し聊か間然する所なし去る三十三年五月上野教育會事務所内に創立せられしが小規模なりし爲め今回新築となる

私立幼稚園 私立清心幼稚園は廿八年の創立にして北曲輪町にあり、又片貝町に私立前橋幼稚園あり

私立前橋義塾 曲輪町市役所裏門の傍にあり主として漢學數學英語等を教授す

盲學校

○衛生

前橋醫師會 明治二十七年の創立にして現在會員は三十八名あり

日本赤十字社群馬支部病院 新町にあり土地高燥にして三面桑園空氣の流

通能く人をして心身を壯快ならしむ構内廣く設備整頓し地方病院として誇るべきものあり大正二年新築落成醫學士桑原政榮氏院長たり

市立傳染病院 明治廿八年十二月一毛村に新築せる者にて敷地千四百七十八坪六棟二百餘坪の病室を有す

前橋積善病院 前橋積善會附屬にして三十六年十月前代田に新築し孤獨若くは窮民を收容し施療を爲す悉く項を退て再録す

大日本藥劑師會群馬支部 三十八年六月開設

看護婦會 十餘戸あり梁瀬、糸井等主なる者にて大正五年十一月前橋看護婦會の認可設立となる

前橋衛生會 明治三十二年の開業にして關根道之輔氏の經營なり主として煙突、便所等の掃除を引受け居しが更に大正二年より廢物塵埃を利用し加

里灰肥料を製造せらる(一毛町)

○官衙公署諸團體及會堂劇場新聞雜誌

○群馬縣廳 市の西端曲輪町舊城跡を以て之に充つ

前橋地方裁判所 全區裁判所(縣廳前に在り)

前橋測候所(岩神町) 群馬縣農會(曲輪町)

前橋稅務署(田中町) 前橋監獄署(宗甫分)

帝室林野管理局前橋出張所(曲輪町) 巡查教習所(曲輪町)

前橋郵便局(曲輪町) 電話交換局(曲輪町)

前橋市役所(曲輪町) 勢多郡役所(堅町)

蠶業取締所(紅雲町) 群馬縣蠶種製造所(前代田町)

原蠶種製造所前橋支所 農事試驗場(前代田町)

物産陳列館(連雀町)

赤城興業組合(堅町)

群馬縣蠶絲同業組合聯合會(本町)

前橋熨斗糸同業組合(本町)

前橋撚糸同業組合(本町)

前橋繭絲同業組合(本町)

前橋製絲同業組合(紺屋町)

群馬縣醬油同業組合(物産陳列館内)

群馬縣牛乳同業組合(北曲輪町)

群馬縣製絲同業組合聯合會(物産内)

群馬縣製絲同業組合(本町)

群馬縣酒造組合(本町)

有限責任信用販賣組合交水社(一毛町)

○武德殿 東照祠畔公園の一角にあり四十年九月の建築にして壯麗あり

○臨江閣 公園内の傍に巍然として聳ゆるもの諸種の會合宴會等の大會場なり皇太子殿下の御旅館に充さられし事再度あり

○柳座 小柳町にあり演劇興行四時絶ゆる事なし

○電氣館 立川町にあり活動寫眞興行場にして晝夜共營業せり

○梅の井 寄席亭にして紺屋町にあり

○新聞雜誌 當市にて發行する新聞雜誌左の如し

△上毛新聞 明治十四年の創立にして縣下に於ける新聞紙の濫觴なり發所は曲輪町社長篠原叶氏

△上州新報 北曲輪町にあり廿九年十月の創立にて主義は實業派の機關たり

△群馬新聞 三十二年十一月上野民報として生れ後群馬新聞と改む發行所堅町政友派なり

△商業新報 片貝町にあり月六回前橋市白翌日發行し商況を報す

△民聲新聞 北曲輪町にあり曩に六回發行なりしが毎月三回に改たり

△上野新聞支局 堅町にあり本社高崎市
 △國民新聞支局 堀川町に
 設く △やまと新聞支局 田中町にあり
 △報知新聞支局 桑町に
 あり △朝日新聞支局 神明町にあり
 △世界新聞支局 北曲輪町
 にあり △東京日々新聞支局 曲輪町にあり
 △下野新聞支局 堀
 川町にあり △中央新聞支局 堀川町にありて孰れも群馬版を設けら
 る、此他下野毎日新聞支局あるも群馬版の設なし、尙雜誌に上野教育會
 雜誌、上毛孤兒院月報、商業會議所會報、積善會報、上信實業新報等あり
 ○赤城興業組合 前橋市一毛町勢多郡役所構内に事務所を有し之が經營を
 爲しつゝあり今組合組織の沿革及現事業地の状態等に就て聞き得たる概要
 左に摘録せん、
 同組合に於て經營せる御料地は古來南勢多、東群馬、那波、佐波の四郡中

百六十八ヶ町村の入會秣場として秣税を上納し雜草の刈取を爲し來りたる
 所にして明治九年改租の際は官民所有未定地とも稱し居りしが後官有地と
 なり明治廿三年一月御料地に編入せられたり、是より先明治廿二年四月町
 村制の實施に依り入會權を有する百六十八ヶ町村は一市十七ヶ町村に編入
 せられ而して秣、雜草の刈取期限も明治廿六年十二月滿期となるを以て全
 年四月廿七日赤城原野入會關係町村長總代となり會議の上植林事業經營の
 目的を以て當局に嚮て借地出願の處明治廿六年十一月十六日時の縣知事申
 村元雄氏の認可を受く同年十二月組合を組織し赤城興業組合と稱し南勢多
 郡横野村長角田喜右作氏委員長となり拜借地を各町村部落に配當事業せし
 めたり、而して今同組合に於て經營せる御料地反別を示せば左の如し

一、植林地 七千三百九町八反五畝三步

| | |
|------|-----------------|
| 二、畑 | 二百四十四町九畝廿三步 |
| 三、田 | 二町五反五畝廿二步 |
| 四、宅地 | 二町九反七畝七步 |
| 五、牧場 | 七十五町七反三畝廿二步 |
| 計 | 七千六百三十五町二反一畝十七步 |

以上にして植林地に對して甚だしく嶮阻なる地區を除くの外は殆んど植栽を了せり、而して樹種類は松を最多とし杉之に亞ぎ落葉松、檜、扁柏等なり爾來幾星霜を経たる今日なれば其樹木に多大の價值を有するものあるに至れり、明治三十六年組合會議に於て組合直接事業の施行を爲すことに決し宮城村赤城山御料地内字合吉東俣に反別十八町七反七畝二十三歩の植林を爲し同年より三十八年までに杉二万七千本、檜五万九千五百本を植付け

尙檜、落葉松等の補植を爲し來りたるが繁茂の成績良好にして今後頗る有望なりと云ふ、又御料地内に開墾するに適したるものある箇所は御料局に於て許可の限度に於て開墾せしむ開墾地にして畑面積の集團せる箇所は敷島上野、横野上野及大胡字金丸を最なるものとし之れに亞ぐを芳賀字金丸なりとす何れも他町村より移住し耕地より生ずる産物を換價し相當生計を營みつゝありと云ふ而して大胡金丸の如きは戸數約七十戸の多數なりと、尙は委員長清水忠次郎氏は副委員長及役員諸氏と協力一致し林野保護に就ては殊に縣當局の指導を抑ぎ其他前記の開墾地等に向つても保護發達を企圖せられ今夏新開地に對しては地質調査の爲め數日間高橋縣技手の現地調査を乞ひ其他土壤を採取し分析調査を委託し亦集團せる開墾地に養蠶業普及の目的を以て渡邊縣技手、渥美勢多郡農會技手の實地指導を乞ふ等赤城

山の開發に就て熱心努力しつゝありと云ふ、是等の計畫は將來益々組合員相互の福利を増進するは勿論にして亦國家的有利なるを疑はず

○關東電機商會 堅町にあり合資會社にして避雷計、諸機械の設計製圖及一般電氣工事を請負ふ者あるが重に簡易屋内電話自家用發電機の取付を爲す自家用電氣は小器械にて少量の落下水あらは足る各工場蠶種家等多數人を使役する場所は欠く可らざる文明の利器たり石油代工場にありては約三ヶ月分位にて出來する見込なりと

○上毛孤兒院 岩神町にあり故宮内文作横地源七郎氏等の發起にて明治二十五年の創立なり現在收容兒數は百三十九人基本金貳千九百貳拾餘圓あり毎月賛助員より寄附貳百四拾餘圓ありと

○群馬縣佛教聯合保護會 前橋市宗甫分二百三十二番地にあり大正二年の創立にして縣下十五個保護團體の統一機關なり免囚保護事業を經營し主として前橋監獄より出獄する者及縣下に出獄飯住するものを直接保護救濟し良民に復飯せしむるを目的とし併て犯罪の防遏社界風教の振興を謀るにあり而して本會は群馬縣内各宗僧侶一千有餘の維持會員と篤志者との經營に
なる

本會は群馬縣知事を總裁に前橋地方裁判所檢事正を副總裁に推戴し貴衆兩院議員、裁判所長、本縣内務部長、全警察部長、前橋監獄典獄、縣會正副議長等を顧問とし地方顧問には各郡市長各警察署長郡市會正副議長其他を囑託し會長佐田仙馨主事水野清範之が一切の事務を處理し改過遷善の實を擧げつゝあり建築物は八個の收容室と作業場及豚舎を有し外に事務室又は會議室の設あり作業に至つては川原作業部、藁作業部、養豚部、耕作部の

四部に分ちて専心之か實行に努めつゝあり

○前橋積善會 明治十三年四月一部の人士の陰徳を行ふの主旨に依り匿名を以て世の貧困者を救恤したるに胚胎す後多數の賛同者ありて公然規約を制定し孤獨廢疾者に惠與の途を講じたり爾來長年月間盛衰ありしが三十五年二月之を前橋各宗協會の管理に附し三十七年一月其組織を改め各宗寺院及市内有志者の共同事業となれり

其成績を擧ぐれば明治十四年醫師會の賛助を得て施療券を發行し貧者を救療し二十年二月福田小學簡易科教場を設置し子弟二百三十名餘を無月謝教育する事五年三十年七月陰鷲畫並に圖解和字功過自致錄渡邊華山遺墨の荒藏飢民救恤の圖等を出版人心の開拓に努め各府縣役場學校等より參考資料とせらる三十六年十月工を起し病室を建造前代田町二五に事務所を置きて

經營し尙増築の計畫ありと、前橋醫會にて月次遞番を以て診察投藥施療の實を擧ぐ三十七年二月征露の役には婦人部と共に出征家族を慰問し罹災貧者に金品を贈る事四百十五回戦死の弔慰料を贈る四十六人全年十月各宗寺院と共に恤兵大演說會を開き陸海軍に献金す三十八年五月慰問袋を募集第一師團司令部に納付出征者に新聞送付十二月前橋各宗協會主催戦死病者大追弔會には寄附金して事務を補く三十九年四月より軍人遺族の幼兒保育事業を開始す四十四年六月醫師會藥劑師と謀り病室收容の外市内紺屋町に外来患者診察所を設け一層事業の發展を期せり

○明治三十七年五月より大正五年三月末日に至る病室收容患者計二百五十三人延人員一万二千三百九十六人なり

全四十四年六月より大正五年三月末日に至る診察所外来患者數は八百九十

七人延人員二万八千二百二十三人

全病室收容出入患者中全治と死亡數

全治 男六十九人 死亡 男二十二二人 延人員一万二千三百九十六人
女二十九人 女二十三人

三十七年より四十四年に至る自宅治療患者施療券枚數四千四百十一枚

全治 男三十八人 死亡 男二十二人 延人員四千四百十一人
女四十六人 女二十二二人

四十四年六月より大正四年に至る診察所外來患者千三百九十六人内

全治 男四百〇七人 死亡 男五十八人 不詳 男百六十六人
女四百十人 女四十八人 女二百〇九人

延人員二万八千二百二十三人

○神宮神部署群馬支部 公園の側東照宮の前面にあり四十五年四月官制發布に依るものにて神宮大宮司の管理に屬し大麻及曆の製造頒布並に臣民の奉養に關する事を掌り署長は奏任待遇にて全國廿八ヶ所の支部あり當支部

は群馬、栃木、茨城の三縣下を管轄し支部長は中村元彦氏なり

○本願寺說教所 南曲輪町にあり本派本願寺の布教所にて各說教日には遠近老若信者の集合夥し

○天理教坂東支會 田中町にあり明治三十年の新築にて群馬外五縣に信徒を有す

○基督教會 市内に希臘派のマツテア教會、新教の前橋基督教會及ひ前橋正公會、天主聖公會、救世軍前橋小隊等あり

○小板橋煉瓦製造所 南曲輪町にあり今を去る十二年前の創業にして本縣唯一の製造所なり現今一ヶ年の製出高は參拾餘万なりと

○大澤家畜醫院 諏訪町にあり麻布獸醫學校の出身明治廿四年の開業にして當地方の古參なり目下蹄鐵を兼業せり

○加藤家畜醫院 立川町にあり東京麻布獸醫學校出身にて北海道方面各牧場に担任勤務せられ経験を積み大正五年の創業なり

○久野家畜醫院 獸醫學士久野久氏の經營にして岩神町にあり氏は永年官海に勤務し敏腕の稱あり大正五年晚秋の開業なり

○神社佛閣

○縣社八幡宮 前橋市連雀町にあり市の總鎮守にして譽田別命を祀る神體は貞觀年間山城國男山より勸請したりと傳ふ後陽成帝の御宸筆神號一軸其他の寶物を藏せり境内老銀杏高く天に參して神寂びたり

○神明宮 神明町にあり大日靈女命を祭神とす境内の小池繞らすに奇巖を以てし半鼓形の石缸も架す一樹の老松二幹となりて天に沖する者は千年の翠色を漲く多數の櫻樹は春毎に香雲を吹く

○東照宮 前橋城趾を距る北一丁許の所にあり村社なり此附近一帶の地を公園とし行樂の場に充てらる明治四十二年市は全所及附近を一區劃とし擴張し花樹も植ゆ面積九千六百餘坪利根川に面する所提上に櫻樹あり斷崖數仞下は水清く砂白く風光尤も賞すべし園内に臨江閣貴賓館あり東照宮彰忠碑あり儼貌仰ぐへし東照宮は徳川家康、菅原道真外一神を祀り慶應二年武州川越より遷座す社殿の用材總て一木の櫟にて成り其名世に高し

○諏訪神社 諏訪町にあり文明十二年笠間明玄入道既橋城築城の際當國西群馬郡に鎮座の諏訪若御子神社東群馬郡前橋一毛村に遷座して地名をも諏訪町と改稱す朱雀宮南方大神と崇敬せり舊城主代々崇敬の社たり

○八坂神社 横山町に鎮座人皇十二代景行天皇の御宇皇子倭健命東夷を征し給ふ時上野國橋山頂の齊場二石を置き須佐男之命を祭て軍人の健康を祈

り給ふ欽明帝の御宇に至て其靈石を遷して宮殿を建て永く此土に奉鎮す是より此社を稱して岩明神の社と云ふ其后神位正五位上に列せられ神名帳に載せらる明治の初年八坂神社と改稱す

○孝顯寺 天川町にあり寛永元年九月結城直基の開基にして開山は普嶺光堯和尚なり直基は松平秀康の四男なり伯父結城晴朝結城家再興をなし越前勝山に封せらる時附隨して舊地菩提寺孝顯の寺名を全所に開創す以后各地に國替となり奥州白川松原村に於て寺領百石を賜はり慶應三年前橋築城の翌年移轉し片貝町正幸寺に借寺中廢藩にて寺祿又廢せられ永續の見込なきを末寺長昌寺住職維持に勤め全寺を直に孝顯寺と改稱奥州、越後、尾張に三朱寺あり連綿たりしが卅年回祿の災に罹り悉く烏有に歸す全住職遷化現今の堂宇は再建のものなり

○隆興寺 芳町にあり寛永十三年酒井雅樂守忠世侯の開基にして除地八反二畝廿歩を寄附せられ龍海院九世角云全虎和尚を開山とせられたり明和七年五月火災に罹り大伽藍燒失せり豊川叱枳尼眞天堂は當寺十八世禪山和尚井上孝政と共に發起して明治十八年再興せしものなり

○養行寺 芳町にあり天正七年酒井重忠の母某の開基にして三河國經川に創建同十八年重忠武州川越へ移封の際該地に再建后慶長六年再び移封に付前橋舊城内高濱曲輪にありしが利根川出水の砌境内欠損せられ明歷年間酒井忠清當地へ替地を給はり而して重忠靈夢に依り曲輪天神山より得たる天神の像及び義經の妾靜女の墓と共に移しぬ明治四年天神の祠は東照宮に合祀し只祠跡を存するのみ本尊十界勸請

○龍海院 大珠山是字寺と稱す紅雲町裏にあり享祿年間模外惟俊和尚の開

創なり是より先八幡太郎義家十一世の裔孫世良田二郎親氏其父有親と世を遁れて清淨光寺の僧となり後三河國に趣きて還俗し初坂井五郎左衛門の養子となり親信を生む妻の歿後其家を親清に附す之舊姫路藩主酒井氏の祖なり親氏更に松平太郎左衛門の養子となり泰親を生む之徳川氏の祖なり泰親五世の孫を清康と云ふ清康享祿三年正月元旦左手に是の字を握ると夢む模外惟俊和尚に問ふ曰く是の字分ては日下人となる郷若くは子孫必ず天下を掌握するの兆ならんと清康喜び和尚の爲に一寺を岡崎に建て龍海院是字寺と曰ふ清康天文四年十二月弑せられて卒す後に酒井雅樂頭忠世特に東照公の命を承け此院の外護檀越となり専ら善徳廟の祭祀を奉す后川越に移し又前橋に轉す更に姫路に封せられしが寺基を動かさず世々酒井氏の香華院として保護怠らす殊に中世有栖川宮祈願所として公家幕府の敬崇も亦異れり

代々酒井氏の特請を以て一宗高德の僧を置き龍象の蹴踏常に數十員を減せず實に鬱たる一大叢林にして亦上毛稀有の壯觀たり

○源英寺 神明町にあり曹洞宗にして慶長六年酒井重忠川越城より當市へ移居の時創立せし者にて開山は興巖春隆和尚なり當時八丁餘の黒印を附せられ堂塔大に輪奐たりしも維新の際上地し又舊觀を成さず

○東福寺 芳町にあり永祿二年宥智和尚の開山なり同和尚が日輪寺に住する際例に由て厄除觀世音の秘法を修行せしが結了の期靈夢に感し乃ち檀徒と計り川端村に一字を建立し朝雲山歡喜院と號したるが當寺の濫觴なり翌々年同和尚は紀州高野山南院へ轉住す后酒井忠世侯前橋市に眞宗あきを憂ひ現地に轉築し寺號を東福寺と更められたり

○橋林寺 向町にあり文明七年長尾左衛門尉景信の開基にして同九年玉岑

慶珠和尚を請して開山と爲し青松山本橋院と號す後文明十三年橋林寺と改む降て天正年中北條安藝守城内御用地に付き廣小路へ替地し慶安三年酒井河内守岩神村の地内向町へ引移し寺領として廿石寄附せられたり天明五年七月火を失し烏有に歸し后再建し今日に及へり

○永壽寺 天川原にあり日蓮宗なり寛文十年六月姫路の城主松平大和守の創立にして日教上人の開山なり松平家川越へ移封の節全地に轉し慶應三年又前橋移封の際天川原に移る

○大蓮寺 立川町にあり元龜二年勝譽上人益淨阿和尚柳原の虎淵に創立す徳川幕府の時現地に移す明和七年焼失記録なし

○長昌寺 紅雲町にあり延徳元年大洞和尚の創立にして長野信濃守の開基なり黒印地として一町三反歩を寄附され万治二年酒井侯よりも三反歩を寄

附せらる北條氏直瀧川一益羽柴孫四郎淺野彈正平岩七之助等の制札及寄附帳今尙存せり

○妙安寺 眞宗にして立川町に在り往昔九條幸實配せられて下總國猿島郡一谷に在りし時宗祖親鸞の門に入りて成然と號す親鸞歸洛の際與ふるに自刻の木像を以てす天福元年成然一寺を建立して一谷山最頂妙安寺と號す數代を経て三河に移り天正十八年十五世成空の時前橋に轉じ現在の地に堂宇を建立せり慶長八年徳川家康東本願寺興立の時宗祖自刻の像を妙安寺に請ふ成空之を快諾したる爲許多の什寶を贈り且累世登城を許し大判卷物時服を賜はるを例とせり今尙藏する所の御宸筆古文書什器等數百点實に得易からざるもの多し

○名所古跡

○厩橋城址 市の西端利根川に瀕する地にあり最初の城主築城年月詳ならず里老の口碑と記録とに徴すれば有名なる太田道灌の創造と相傳ひ壽延寺の記には笠間明玄なる者之を築くとあり

前橋風土記に曰く 府封城侯不知將以何時築焉城下長昌寺設歷代城主之木主矣第一延徳元年固山宗賢第二道安其三道賢其四道忠其五前藝州大守芳林其六宗祝其七平宮院也以下酒井家代々之木主地各訂其姓名一則固山宗賢者長野左衛門尉也道安者道賢之父長野道安也中畧又考壽延寺記笠間明玄創築此城又詳按其封侯序天文之間長野道安主于此永録元年長野彈正入道居于此長野賢忠亦守于此同五年長尾景虎殺賢忠令北條丹後代之云々

明治の世に迫りて城址は曲輪町以下十二町の市坊となり明治九年群馬縣廳

を高崎より移し本丸を改築して縣衙となせり雲を凌いで巍然たる天主樓門の舊觀訪ふに由なく僅かに廢塹舊皇の跡を存するのみ前に城主其他掲載したれば以下畧す

○廣瀬川 利根川の分流にして北橋村より分れ前橋の西北より南東に注ぎ佐波郡を過ぎて新田郡米岡に至り再び利根川に合す流域九里十町あり一名比刀根川と云ふ

○風呂川 廣瀬川より分れて臨江閣の北を流る溝渠なり往昔上杉謙信自ら湯沐の料に堀鑿せしが故に此名あり實は城中井水の欠乏を憂ひ籠城渴水の用意に風呂の名を利用し敵に内情を知らしめざるの遠謀ありしと云市内縦横に流通する小渠は概ね此川より分水せるものなり

○阿虎が淵 口碑に傳ふ昔酒井侯城主の時國老某なる者あり色を好み醜

聲絶す嘗て侯の侍女阿虎の容色美なるを見て心を動かし屢々之を挑むと雖も阿虎堅く貞操を持して應せず某之を怨みて侯に讒誣して罪に陥れ生ながら利根川に沈めしむ里人之を阿虎が淵と呼べり

○女溝 相傳ふ鎌倉尼將軍政子利根川の水流を笠懸野に漑がなが爲に岩神原より東南天河原に至り夫より二子山の北方に亘りて溝渠を穿ちしも水遂に通せずして中絶せりと今其舊形を存するものは矢田の北より高台の南に至る迄兩岸高き廢濠にして長さ五町三十間巾七八間あり

○梅が橋 岩神町稻荷祠より南一町許りの處にありしと今は形態を存せず由緒に就て相傳ふ城主酒井某侯此邊に別莊を構へ野遊の休所としお梅と呼べる愛妾を住はせ其別莊をお梅御殿と宅前の小橋を梅の橋と呼べりとの説あれども信すべき記録なし

○招魂社 公園内東照宮の北にあり明治十年十一月の創建にして西南役秩父暴動及征清征露役殉難者の靈を合祀す碑二あり一は十二年拾一月建つ表面に有栖川宮熾仁親王の御筆にて厩橋招魂祠記と隸額し時の縣令揖取素彦氏の撰文を刻し裏は西南役戦死者の姓名を列記せり又一は拾九年拾一月建つ縦一丈二尺横四尺刻するに柱野前川死事之碑とす陸軍中將山縣有朋氏の書にて碑陰に時の知事佐藤氏の文を刻す其他二碑あり一は前縣令揖取氏の功德碑一は建碑贊助連名の碑なり

○下村銅像 市の功勞者下村善右衛門氏の銅像にして東照宮裏廣場南向に建設あり

○梅の井 榎町にあり昔より文人雅客の口に上れる名所なれと今は名を存するのみ僧行妙の歌に

袖ごとに香をめでとて汲め名に高さ

くるまの里のむめの井の水

○二子山 天川村にあり東西一町二間南北三拾二間周圍二町三拾八間高さ三丈五尺西は二丈五尺中間低き處は一丈五尺にして碑碣なく樹木なく考古の徴すべきものあきも古代陵墓の形様に比較して考れば王族の陵域たるに疑なし二子山考の著書には豊城入彦命の御陵なりと云ふも一説に御諸別命の孫現古公神功皇后の御宇矢田部の姓を賜ひ此地に其邸地を構ふ現今れ矢田町は即ち其古跡也因りて推定せは二子山は豊城命彦狭島王御諸別王何れかの御陵ならざるべからず近年山上に櫻樹を植ゆ

○彈正林 新町れ東北裏にあり長尾謙忠の壘砦舊址にして今猶ほ井溝等の梯を存す彈正林の名は長尾氏の彈正入道と稱したるに基くといふ松樹茂生

し四隣河に圍まる入道の墓は龍海院にあり

○石棺山 二子山を距る七八町の北にあり其形楕圓にして西北より傾く長さ拾五間廣さ五間高一丈餘中古風雨の爲め壞崩し石棺露出せるを以て名けたりと上古何人の墳墓なるや詳ならず

○古石壁 曲輪町通りより縣廳に至る兩側の石壁は舊城の遺物として元と車橋門口と稱せし通路に當れり相傳ふ酒井侯大老たりし時仙臺の原田甲斐藩命を帶ひ助工して築きたるなりと一説に永祿以前築く所にして當時の牙城は今日の縣廳より遙かに西北にありて此石壁は車橋の外廓に當り夫の永祿拾年の戦には此邊血戦の巷なりしといふ慶應三年再築の時此石壁外に城濠を掘りしに人骨武器を數多掘出せしとありと

○龍塚址 田中町永壽寺境内西の方にありし小埠なりき何の塚たるやを詳

にせず口碑に傳ふ是を毀つもの必ず疫を病むと嘗て塚中より刀劍の腐鏽せるものを發掘せり之れ或は天正永祿の間に於ける戦死者を埋めたる所ならんか此名に因みて田中町龍塚と呼ぶ

○鐘樓 曲輪町にあり高檜青空に聳立す此鐘により晝夜時を報す此鐘樓は舊藩主松平和州侯武州川越に移り此地に陣屋を置かれし時建設されしが適當の釣鐘なきを以て壽延寺末寺神宮寺の梵鐘を借受け其用に充てぬ此梵鐘は元祿拾七年豎者法印三觀と云ふ僧の發願にて鑄造せしもの其銘に曰く幽顯英撞 普闡靈真 參修勝緣 資薦其福 鯨音獅吼 昏覺魔伏 龍天斯護 鴻祈借極 願諸賢聖 同入道場 願諸四衆 俱時離苦 壽延拾九元教謹題

明治四年廢藩置縣と共に自然廢滅せんとせしを市民協議の上依然据置く事

となり其后拾六年大火の節烏有に歸せしが翌春再建して舊態を存しぬ

○岩神の飛石 向町の北三丁餘廣瀨川の東岸に奇石あり之を岩神の飛石とす村名に因みて此くは稱するなり高二丈餘傍に稻荷の小祠あり抑此石の平垣々たる此地に屹立する實に奇とするに値す或は淺間大噴火の際噴出せりと云ひ或は元利根川の水路此邊にありて地層より洗出されし者ならんとも云ふ後者の説近し



上野名勝誌 第三編

四二

勢多郡

○地位 東南は佐波、新田、山田の三郡に接し西は利根川を隔て、群馬郡に隣り東北は山岳を以て下野國に連り北部利根郡に界す

○地勢 本郡は山脈を以て東北を圍繞し東南に亘る大郡にして南部は概ね平坦にして田圃相連なり中部地盤平ならざるも田畠水利の便あり特に桑園に適し蠶種家の模範桑園各地に散在せり赤城山は北境に峙ち直立四千尺黒檜鈴嶽、地藏、篠倉、鍋割の五岳に分れ利根の山脈と相連亘して北東に走り大袈裟山と相接す渡良瀬川は下野安蘇郡方面より來り南流して諸川を合し山田郡に入り遂に下野に入る利根川は利根より來り片品、吾妻の各川と

合し洪流となり佐波を経て武州に入る

○道路、鐵道 縣道は前橋より起り大胡町を経て大間々町に通じ本郡の南部を東西に貫通す又日光街道別路は大間々より花輪を経て足尾に至る伊勢崎より駒形を経て前橋市に至る清水越新路あり南橋を経て澁川に達する新道開け電車は毎日數拾回前橋より此道路により伊香保迄往復せり兩毛線は前橋より駒形を経て伊勢崎に通ず足尾線は桐生より來り舊日光道と渡良瀬川とに沿ひて足尾に通ず、

○廣袤 東西拾里拾五丁南北六里三十四丁面積三拾七方里五分七厘なり

○町村 郡内を一町拾六ヶ村に區劃し郡衙を前橋市堅町に置き管轄す

○物産 繭、生絲、米、麥、材木、薪、炭、石材、鮎、鳥獸類

○沿革 勢多郡は元と一郡なりしを明治の初年南北の二郡に分割し全廿五

年四月南勢多、東群馬兩郡の各一部を分割して前橋市を置き全廿九年郡制
 實施の際北勢多郡を利根郡に合し南勢多東群馬兩郡を合併し再び勢多郡と
 改稱せり故に其郡名起本及び沿革を記するに當りて其煩を避けんが爲め附
 記す

○郡名起本 勢多郡名義たしかならずと雖もおして是を思ふに名跡考に北
 に赤城の大山あり郡地は其下回をめぐる、然れば勢多とは下の義か山下と
 言ふ意にや下の約は須也、須と勢は同音にて通ふなり、譬は伊勢の國は五
 十鈴の川名に出たりと云ふ、類五十鈴の須々の約は須也、須勢かよいて伊
 勢なるべし、今爰も山下の斯多を勢多と言ふ同義なるべし、下の字又之津
 とも訓、下男をしづのを下垂をシツといふ類なり、之津の約須とある須勢
 同韻にて勢田なるべし山下地なればなり山上といふ里もあれば山下もある

なるべし、本郡古ひの郷名は和名抄に深田、田邑多無良芳賀波加桂萱加以眞壁

倍万加時澤、深澤布加深渠布加の八郷あり之を現今の地に徴すれば眞壁は今

存す、深澤は神梅宿廻邊を今も云ふ、深田は今の箱田、田邑は田室、芳賀
 は端氣、桂萱は片貝、深渠は溝呂木、時澤は室澤、藤澤泉澤などにや續日
 本紀十七に孝謙天皇、天平勝寶元年閏五月癸丑上野國勢多郡小領外從七位
 下上毛野朝臣足人、授從五位下とあり古實の正史に見わたる本郡なり

○管轄沿革 往古國造、國司より守、介、椽、を置きたる王政時代は前に
 説きたるも當時郡内に上野四家の隨一たる田原藤太秀郷の子孫足利氏あり
 本郡の名族にして郡内過半を領す八世の孫足利成家本郡大胡に城廓を初め
 て大胡を氏とす壽永年間其曾孫實秀の時に至り源頼朝に屬し爾來累世本郡
 を食む後ち弘治元年宮内少輔勝行の時新田の一族由良國繁の爲に領地を掠

畧せられ武藏に走り北條氏に依る由良氏益々伊勢守を城代とす天正四年丙子八月八日北條氏政本郡へ亂入し大胡城を攻落し再ひ勝行をして之を守らしむ天正拾八年北條氏滅亡の時城陥り大胡氏遂に滅ぶ徳川氏の世に追ひ牧野右馬允忠成封を本郡に受け大胡城に居る元和四年牧野氏越後長岡へ移封し其後前橋城主酒井雅樂頭の領地とかり寛延三年松平大和守に代り明和五年より幕府の直轄に歸し天明五年再び松平大和守の領地となり明治維新に至る全五年群馬縣の管轄となり六年熊谷縣に屬し九年八月再び群馬縣に復せり

○大胡町 本郡に於ける町政は當町のみとす前橋市を距る二里拾九町の地にあり天正拾八年より元和四年迄凡そ三十年間牧野右馬允忠成の舊城下にして市街繁盛なりしも牧野氏越後長岡に移封し廢城となりて一時衰微に傾

きしが維新以降織物の工業盛大となり大間々、伊勢崎、足尾等の商工業地と連絡の要地にして且近年製絲場の新設あり商店旅館櫓を連ね各市毎に人多く郡の樞要地として役場、警察署、郵便局、三十九銀行支店あり全町電燈にて夜尙白晝の感あり本紙寫眞の伊勢屋旅館は警察前にあり當地第一の旅館にして主人瀧吉氏正直にして語氣を飾らず勉強と懇切を旨とせるを以て信望あり上流下流の別なく來り投宿する者頗る多し

○渡良瀬興業株式會社 東村字澤入にあり全地特産たる石材を採掘販賣する者にて埼玉、群馬、千葉、東京、神奈川の各府縣に得意を有し日々の採取夥しく足尾鐵道便により絶えず積送せり取締役社長は長義三郎氏熱心に社員の統御又宜きを得益々發展に向へつゝあり

○勢多風穴種 勢多郡に於ける風穴蠶種の年々發展し注文激増を見るは技

術の進歩として喜ぶべき現象なり多數の製造家中最も頭角を現せるは古屋清太郎氏なりとす氏の製造は實に壹万參千餘枚を算し縣下隨一と稱らる特に成績優良なるを以て歡迎され各地よりの注文に不足を來すの現況たり氏の事業は成す所順序的秩序的にて一列を得る迄は方法と手段とに熱意し決して一列以外に計圖を放たず即ち尺を得て始めて丈を量るの方針歩度晰然として蹉跌失敗なく今日の大を爲せる所以のもの蓋し氏が浮華虚聲を避け急進速成を避け目前手下の姑息的經營を避けて遠大を期する慎思あるに由る、氏は亦先天的の勤勉家にて極めて機敏俊逸なり一旦意を決して着手すれば敏手快腕潑指として事に衝り意を盡し心を馳せ成功を期せずんは息まらず細事を成すんは大事を成すに足らずと名言の如く氏は桑苗木の栽培を接穂植付等に至る迄細心注意を拂ひ其營業振は國家的にして自己なく實に本

縣蠶業界の耳目たるの評あり

○野中信用組合 木瀬村大字野中に在り全村は五拾餘戸に過ぎる一部落にして比較的耕地多く單純なる農村なりしが奢侈の風漸く生じて排農の弊に浸染せむとす村内有志清水忠次郎、清水及衛等深く之を憂ひ救済の策は協同一致勤勉力行の美風を奨むるにありとし明治二拾七年夜業獎勵の方法として當時の農會員二拾七名と共同積繩組合なるものを設置し五ヶ年間實行する所あり同三拾二年之を廢し蓄積金の大部分を割戻し其殘額より生ずる利益を以て農具を購入し順次組合員に分配し全年共同貯蓄信用組合を設立し貯蓄の獎勵と農事の改良とを計る三十五年産業組合法に依り當組合を設置し信用購買生産販賣を兼ね農作物の改良より進んで農村風紀の改善を企て組合長清水及衛氏主として任に當り成績良好にして明治四拾二年大日本

産業組合より模範組合として表彰されたり

五〇

○大島の梨 木瀬村大字大島にして梨園としては海内に於ける有名なる歴史を有し關口長右衛門、石原廣吉氏等を重かる者とし村内數十の栽培梨者あり關口氏最も古く文政年間に植付したる梨大木となりて今尙存す年々の産出は一戸平均千五百籠餘なりと

○鑛 泉

○梨木鑛泉 赤城山の南麓に位して海拔千四百九拾尺餘背後は赤城山前面に深澤川の溪流滾々して走り景趣頗る佳なり、傳説に依れば田村將軍東征の途次赤城明神に祈誓して靈顯ありしより大同二年社殿の造營を行ふ時に杣翁あり鑛泉湧出の事を告げしかば即ち之を開くと云い又正徳年中正三位梨木祐之なるもの此處に俗して病痾を醫したるより名聲漸く四隣に聞へ地

名を梨木と呼ぶに至ると兎に角近年足尾鐵道の貫通と共に交通の便を得て浴客又昔に數倍し京濱地方上流社會人士の來り遊ぶ者年毎に激増せりと旅館は梨木館(深澤眞十郎)ありて三層樓の建物數棟あり設備完全にして客遇頗る誠實廉價と懇切とを旨とし自炊客を奨励するを以て滞在費の低廉なるは言を俟たず浴餘の散策には久良美の瀧あり湯本八景あり、特に本年は家を増築し庭前の深澤川を利用し工費約二千圓を投じ自家用電燈を据付け各室内に点火し全庭内は勿論白晝の感あり該電は前橋關東電氣商會の設計にして電業社製横軸タービンにて二キロワットの發電なりと以後は鑛泉も電熱を利用する方法なれば浴客は晝夜の別なく入浴せられ恰も温泉に異らざる感あり

○湯の澤温泉 赤城山の南腹に位し宮城村大字苗ヶ島にあり泉質は炭酸泉

にして皮膚病脚氣婦人諸病に特効あり昔時は十數軒の旅舎ありて名聲四近に聞へしが二三回火災にて全焼し今は元東屋、新島屋、新東屋の三戸何れも客室清麗懇切にして又滞在費は山間なれば贅品なきも低廉なるに驚くべし土地高燥四面山を遶らし鍋割山荒山は直經數百歩にして高く峙ち神庫山後ろに屹立して屏風の如く幽邃人をして仙境に入るの思あらしむ現今浴舎は明治拾八年新たに築きたるものにて漸次改良を圖りたる結果年毎に盛況に赴けり

○榎下鑛泉 黒保根村大字宿廻村にあり泉質は炭酸泉にて慢性皮膚病、腺病、神経痛、氣管支加答兒等に有効なり

○瀧澤鑛泉 赤城山の南麓粕川村に在り湯の澤より拾町餘鹽類泉に屬し慢性胃加答兒、肝臟病、且經不順、子宮、癩麻質斯、皮膚病等に効あり湯元は北

爪重太郎氏近年の開設なるも待遇上懇切にして費用の廉なるを特徴とす

○友成鑛泉 粕川村字深津に在り單純泉にして胃弱、便秘、皮膚病等に効能あり

○地藏の湯 樺の湯とも云ひ地獄谷鑛泉とも稱す赤城山地藏岳の南麓にて富士見村地内なり泉質は硫黄泉にて皮膚病、痲氣、寸白、脚氣等に効あり
○神土鑛泉 尾足線神土驛々約一丁線路を去る數歩の處にあり湯元は吉澤初太郎氏にて設備客室清潔を保ち楮上欄に倚り伏仰せば渡良瀬の清流或は石に激して雪を吐き或は淵に滯りて藍を染め潺溪の音琴を聽にも似たり向岸屹立せる秀峯は青松雲を衝き奇巖霞を帯び閑幽の趣畫も如かざるあり況んや花笑ひ鳥歌ひ月出て虫吟する等四時其興を絶たざるものあるに於てをや靈泉に浴し四肢を清するの後尙心に憂の残るあらんか手を撃ちて杯を呼

へは美酒嘉肴立ろに辨し忽ち其憂を忘るへし近邊景勝としてザマの瀧、釜戸の奇勝、清水寺の観音（勝道上人の作にて有名の者）等あり胃腸、僂麻質斯、痛風、創傷後の滲出物神經性諸症其他に大効あり

○金山鑛泉 新里村大字大久保にあり東北は山に面する高地に位し南西の展望遮るもの無く脚下に數町歩の梨園桃園等あり遙かに佐波、多野の一部及埼玉縣を望み富岳秩父の連峯も瞰視するを得伏仰村落を一望せは桑園漠々人家其間に點在し東北の諸山と連り風景佳絶江風清颯時に衣襟を拂ふ亦得易からざるの勝とす湯元彌生館主客に對する懇切義挾あり設備又完全に於て大間々停車場より三十町庭前迄人車の便あるを以て如何なる入用品あるも即時便するを得べし鑛泉は鐵分を含み皮膚病、男女生殖器病、僂麻質斯、疝氣、脚氣其他諸症に大効あり

○龜里鑛泉 下川淵村大字龜里にあり當鑛泉は明治四十一年湯元細野氏が家作増築の砌飲用水の井戸を鑿りしに異様の臭味を帯ひ飲用に適せず時々温浴に使用して病氣に効驗あるを發見し藥劑師の分拆を経て其筋の認可を得開業せし者なるが胃傷、僂麻質斯、痔、血の道、子宮、中風、貧血、神經等に効驗あり浴客の便には前橋より馬車あり四隣眇望たる田園桑園等を眺め風光佳良にして設備又整頓し街衢狹隘なる地に比し擴漠たる田野の新鮮空氣は特に病を癒する一助ともなるらん

○牧 場

○黒檜牧場 黒檜牧場株式會社の經營にして面積數百町歩牛馬を放牧し毎年四百頭を放飼し成績良好あり

○赤城牧場 赤城山の裾野富士見村地内にあり明治十八年の創設にして反

別數百町步現今羽生田仁作氏經營にして放牧千數百頭山中屈指の牧場たり
 ○荒山牧場 敷島村にあり明治五年の創設にして宮城村奈良原氏の經營する所にして反別數十町步重に馬匹を飼養し成績良好なり

○沼久保牧場 富士見村地内にあり明治十二年の創設數十町步星野佐平氏の經營にして馬匹を飼養し成績良好なり

○二本檜牧場 大洞の西にあり林貞次郎氏の經營にて面積數百町步牛馬を飼養せり

○黒保根牧場 黒保根村にあり明治廿七年の創設面積數百町步牛馬を飼養す

此他鈴ヶ窪牧場、檜山牧場等孰れも牛馬を飼養し成績優良なり

○瀑 布

○瀧澤の瀧 不動の瀧とも云ふ字苗ヶ島村にあり水源は赤城小沼より發し高さ十六丈三尺幅間巖壁を直下し雲飛び霧散するの光景頗る壯觀なり

○詔子の伽藍 小沼より瀧澤瀑布に至るの間岩崖峙ちて空洞に似たる所あり詔子の伽藍云ふ形狀宛然詔子の如く鬼斧の妙驚嘆の外なし然れ共行途峻嶮にして此他に大小四十八ヶ所の瀑布あるも曳杖すへからず遊士の恨事也
 ○旭の瀧 北橋村大字箱田木曾神社境内にあり旭將軍木曾義仲の首級を埋めし處ちりと云ふ池水は岩間を潜流する百歩ばかりにして瀧つ瀬となり玉簾の旭に映するが如く美觀云ふべからず玉簾瀧とも云ふ

○雄瀧、雌瀧 敷島村大字棚下鑿澤にあり雄瀧は高さ十三丈二尺幅九尺雌瀧は高さ二十丈幅三尺共に下流は利根川に入る

○神社 佛閣

○縣社木曾三社神社 北橋村下箱田に鎮座祭神は宇氣母智神、須佐之男命、彥火々出見命、豊玉姬命にして延喜式内信濃國筑摩郡の三座岡田、沙田、阿禮の三社は木曾義仲の篤く崇敬せし所なるが元暦元年正月義仲歿落に及びて遺臣等永く其祭祀の絶えんことを憂ひ且神託に依て當地に來り右三座を遷し祀る觀應年間管領上杉憲顯社外の田を寄附し後上杉謙信武運長久の誓書を奉り白井城主長尾氏亦厚く崇敬せり徳川幕府に至りても領主の尊崇異りなく社地を御修葺内と稱し前橋城主代々公費を以て管繕を爲せしが寛政元年六月火災に罹りしとき領主松平氏武州川越に在城せしのみならず移封の説あり造營の沙汰自ら遷延せり依て同六年氏子信徒相謀り本社拜殿を建築す文化七年前領主酒井氏播州姫路より重臣を遣はし鉾一口及金若干を獻し同十年更に從四位下行雅樂頭忠道自筆の神號扁額其他を獻納す前橋城

主松平氏亦崇敬厚く慶應三年前橋に入城せらるゝや恰も拜殿再建の際なるを以て金貳拾兩を寄進し落成の後明治三年從五位大和守直方社參して親しく弓矢を奉納し續て伯爵松平基則信徒として弦料金若干を獻す同二十九年六月社格昇進縣社に列せらる同三十一年九月貞宮多喜子内親王殿下より幣帛料に掛物一幅を副へ木曾檜七株御下賜同三十四年八月北白川宮能久親王妃富子殿下成久王殿下輝久王殿下及二荒芳之伯御參拜社頭に若松一對御手植あらせらる其後有栖川宮威仁親王殿下久邇宮邦彦玉殿下各幣帛料御下附あらせられたり

社殿 本殿 本殿鞘宮 幣殿 拜殿 祓殿 額殿 社務所

境内 參千參坪幽邃にして清淑の氣磅礴し人をして宛然仙郷に在るの想あらしむ湧玉泉玉簾飛泉等の勝あり就中湧玉泉は源泉滾々として常に白砂を

噴き清麗珠の如く苔滑に藻鮮なるを以て名あり明治四十一年宮内省御用生洲に撰定せらる明治三十三年九月主獵局長山口男爵聖旨を奉して利根川筋を視察し本村大字下箱田村より大字八崎村に至る沿岸を以て宮内省御用鮎漁場と定め生洲を本社々域湧出の清泉に設け鮎漁事務を社司今井善治郎に囑託し爾來屬々侍從若くは主獵官諸氏を差遣さる依て今井社司は同三十六年湧玉泉接續地二千餘坪を購ひ一屋宇を新築し一部を皇城遙拜所とし一部を生洲番衛所に充つ其事畏くも叡聞に達し同年九月特別の御思召を以て侍従米田男爵を差遣され實見せしめられたり

財産 畑一町六反八畝二十七步、宅地一千百九十七坪、山林二町六反九畝三步、原野四反九畝十八步、溜池一反六畝一步、雜種地七畝十四步、有價証券五百圓、預金壹千八百五拾四圓八拾六錢七厘

氏子 七十五戸

境内神社 拾壹社 社司 今井一時

○縣社赤城神社 宮城村三夜澤に鎮座

祭神は大己貴命 豊城入彦命にして創立年月不詳と雖蓋崇神天皇の御宇とす天皇の皇子豊城入彦命大命を奉し東國を綏撫す此時天下疫癘大に行はる天皇憂懼乃ち大己貴命を奉祀し且天神地祇を祭る命聖旨の在るを察し地を赤城山南麓なる此地に相し篤く大己貴命を齋祀す既にして疫熄み年豊に東國亦皇澤に霑ふ後彦狹島王の子御諸別王東十五國都督となる王は豊城入彦命の曾孫なり赴任して叛を征し服を撫し威德盛に行はる百姓豊城入彦命を追慕し其情甚だ切なるを視乃ち此祠に配享し以て庶民の望に従へり其後安閑天皇二年御諸別王の第二子下野國造奈良別命の裔佐知彦王の子多氣丸

倍彦兄弟を以て上野赤城大神の齋主と爲し此年始めて祈年祭を行ひ爾來每歲七月一日執行するを例とすと

續日本後紀承和六年六月甲申授上野國无位赤城從五位下○三代實錄貞觀九年六月丁亥授上野國從五位上赤城神社正五位下、同十一年十二月廿五日授正五位上同十六年三月十四日授從四位下、元慶四年五月廿五日授勳七等從四位上延喜式内名神大○上野國神名帳正一位赤城大明神○寶曆十二年正月九日宣旨奉授正一位位記○明治五年八月一の關村外四十二ヶ村の郷社に列し同十二年五月縣社に昇格す○古來武門の崇敬極て深厚にして守護不入の墨印數通及幕府の朱印五十石を有したりき

社殿、本殿、中門、玉垣、御厩、水屋、社務所

傳云延曆三甲子年本社再興大同二年田村將軍造營承平四年本宮屋根替上葺

藤原田原藤太寄進茲に神木を植ゆ、正中元年上葺新田義貞寄進嘉吉二年新田由良家神輿造營、弘治三年惣門上棟、天正四年八月北條氏政の軍勢亂入社殿を破却す天正六年本社上葺北條安藝守寄進、長二年二月火災に罹る、同十一年檜皮葺牧野駿河守寄進明和六年神樂殿竝に假殿建築、文化七年三月拜殿建替、明治二年十一月本社再建同十九年本社及御門等銅葺となす、同二十八年二月十二日拜殿神樂殿等焼失す

境内壹万貳千九十五坪 老杉蒼鬱として社頭を護り清水潺々として樹間に湧出す南方遙るに富岳と相對して眺望頗る佳なり

財産 有價證券六百圓 預金千三百八十圓九十七錢九厘

寶物 嵯峨天皇御宸筆勅額、後柏原天皇御宸筆短冊、曲玉、(明治十一年明
巡幸の際行在所に於て)其他數十點あり
特に天覽の榮を賜ふ

氏子 貳拾四戸

境内神社 九拾參社

神饌幣帛料供進指定 明治三十九年十二月廿八日

例祭 五月五日 社司 奈良原備雄

○郷社二宮赤城神社 荒砥村大字二之宮村字宮本鎮座、不詳傳云人皇十一代垂仁天皇の御宇置かせ給ひし社國二宮社にして第七十代後冷泉院の御勅願所と爲り院より佛舍利壹粒御奉納あり昔時は祭典頗る隆盛を極め參詣祈請の人夥しく村端の一小橋邊にて革鞋を嚮ぎしもの日に千足の多きに達せしとか爾來該橋を千足橋とか名づけたりきと當時世人の敬信如何に篤かりしかを想見すべし此橋今尙存して人口に膾炙す

鎌倉右府源頼朝深く當社を崇敬せられ社領壹百石を寄附し且つ社殿を造營

せしが永祿年間兵燹に罹り二三重寶を除くの外悉く烏有に歸せりと後大胡常陸介亦崇敬厚く御供米七石貳斗貳合奉納其後領主代々先規の通り以て明治二年に至りぬ往昔より毎年兩度同郡宮城村大字三夜澤村鎮座縣社赤城神社へ御神幸の神事行はる、安政二年十二月二十一日正一位口宣勅許明治三十九年十一月二十日郷社に昇格す同四十年七月二十五日許可本社境内末社九社境外無格社四社全末社十五社を合併し同時に郷社二宮赤城神社と改稱せり境内四千七百七十七坪古松老杉蒼鬱として巍然たる社殿を圍む

寶物

一佛舍利（永承四年十一月後冷泉院奉納）

一龍王面（裏面に左の銘あり上野國勢多郡二宮享德二癸酉年）

一大薙刀（表記承了瀧心藏坊）長さ貳尺四寸
裏二宮大明神文龜三年亥亥二月九日眞重同良賢あり

一盥漱盤（銘中に延喜四年の文字あり）

其他新古拾數點あり

例祭 每歲四月十五日にして郡より幣帛供進使參向せらる餘興として太々神樂奏上大仕掛の飾り物等あり

○郷社赤城神社 富士見村大字横室村字初室鎮座

祭神豊城入彦命

傳云景行天皇四十一年皇子日本武尊東夷征討の際信濃方面より東上の砌當山に登り給ひ清美御懿徳を浴し後世を愛せられ武具を石藏に埋め亦頂上に土を盛り臑を立て豊城入彦尊を奉し東夷鎮撫の祈願をなし給ひしと云ふ厩橋城は足利八代將軍義政の命を受け上杉修理太夫定政の執權職太田左衛門尉持資入道灌築城也以來城の鬼門鎮護として城主代々崇敬す明治六年熊

谷縣北第三大區五拾六ヶ村の郷社なり境内國見ヶ岡（十二山）春は梅櫻つゝ、夏は涼み秋は紅葉冬の雪景橋山、坂東東橋電車の往來南は前橋等を覗ひ赤城山は頭上に見て西は榛名妙義遠く信、甲、武山脈連り天に聳へて白根の高峯鋸八ツヶ嶽城峯御嶽三峯渺茫たる秩父山靈峰を眺め漣如利根寧流老松に見ひかくれ風光無双の絶景なり中央には即位記念として神苑を設けり

○木曾三柱神社 北橋村中箱田鎮座

祭神は保食命 彦火火出見命 須佐之男命 豊玉姬命 天忍雲根命

大山祇命 武甕槌命 御諸別命 譽田別命 本康親王 菅原道真公等なり

由緒 傳云元暦年朝日將軍木曾義仲戰歿の後其三男朝日三郎義基弟四郎義宗一族遺臣と共に逃れて外祖父上野國沼田伊豫守藤原家國に倚り勢多郡箱田に移り地を此處に相し塚を築き先考朝日將軍の遺物を埋藏し之を將軍塚

と稱へ其上に社殿を造營し故將軍の崇敬厚かりし延喜式内信濃國筑摩郡の三座岡田、阿禮、沙田の三社を遷座し社號を箱田神社と稱し代々祭祀崇敬怠りなし曆應元年九月義基五世家村封を受けて信濃に移り以後社殿漸く荒廢せしが天文年間之を再興し弘化年間社殿を改造す嘉永四年義仲二十七世義長の宗子木曾義寛參拜重寶を奉納し明治二年二月前橋藩知事松平直方亦參拜して神饌幣帛料其他を供進せりと

境内 七百七十七坪風景佳なり社殿は將軍塚と稱する高さ四十尺周圍百三十尺丘上に建設せられ其附近同種のもの數所あり一を朝日塚と云ひ他を七騎の塚と呼ぶ、寶物として木曾義仲遺物數點あり

社掌 根井鍋十郎

○赤城神社 赤城山頂大洞沼に鎮座祭神三十九柱あり郡内各社併合の結果

なり、相殿 源家康公 大山咋命

大同年間の勸請なりと傳ふれども未詳地頭の崇敬は厩橋城主笠間明玄に始まり長野氏、長尾氏、平岩氏共に敬仰深く酒井氏に至りては社殿の造營五度に及び雅樂頭忠世は群馬郡紅雲分村に於て上田參反參畝十八步寄進し神輿を奉納す續て松平氏亦世世崇敬篤く社殿を修繕し祭典料として毎年米貳拾苞を寄進せり都て大祭に方りては代々の城主登山して親しく奉幣するを例とし其當時當國は勿論近國各地の象庶崇敬厚く上野國大鎮守と稱へ五百二十餘村の氏子を有し神德赫灼たりき

當社の分社數社あり俗に之を里宮と呼ぶ就中前橋紅雲分村所在の里宮は文明年間笠間明玄厩橋城を築くに際し城は未申に方り社殿を營み勸請したるものにして爾來の城主亦崇敬厚かりしが長野氏、長尾氏、平岩氏、酒井氏

松平氏を経て廢藩後漸く頽敗し永久維持の困難を感じ信徒の情願に依り明治二十年九月十七日本社に合併せり

境内 五千九百五十八坪所謂上毛三山の中最も雄大にして景趣に富み海拔六千三百尺餘我勢多郡の北嶺にして山頂黒檜山地藏岳荒山鍋割山鈴ヶ岳等數峯に分れ其中央に大壑あり深碧の水汪然として萬象を涵す稱して大沼又石垣沼と呼ぶ湖中の北に一嶼あり小鳥ヶ島と名づく老本鬱蒼宛然浮泛せるが如し湖東に聳ゆるものは黒檜山とす高峯にして萬葉集に久呂保乃禰呂と歌はれたるは北山なりとぞ本社は湖の南畔にあり老樹森立して晝尙暗く神代の遺蹤徐に人をして敬虔の會に禁ぜざらしむ

例祭 五月八日 社掌 塩原才助

○産泰神社 荒砥村下大屋鎮座 祭神八柱 相殿八柱 古來鎮護地頭の崇

敬淺からず就中前橋城主酒井雅樂頭厚く崇敬し社頭を營繕し自筆の額面其他を奉納せらる松平大和守酒井下野守前田丹後守大岡主膳正等亦崇敬せられ懷妊のときは必ず社参あり安産守護の大神として遠近参拜者頗る多し享和元年十月廿六日正一位宣旨位記口宣(此時源清之郷より賜はりし歌、いや高く世にあふくらし雲の上に聞え上げたる神の宮井は)

社殿 幣殿 拜殿 神門 神樂殿 拜見所等あり酒井雅樂頭の造營にして頗る美觀たり

境内 一千九百坪本社の背後奇石累々たり之に近ければ磁針忽ち方向を轉換す

寶物 土偶人首 鈴 鏡 曲玉 金環 祝鬘

文政年間石工某石を得んとて大黒塚と云ふ古塚を發掘して之を獲藏置せし

に崇りを蒙り神主の家に納む明治十一年天覽に供し命に依り宮内省に提出
十二月七日御下戻さる

社掌 大谷 宣

○大胡神社 大胡町にあり祭神四十五座あり相殿八柱あり本社は元近戸神
社と稱し祭神は大巳貴命、豊城入彦命、八綱田命にして宮城村三夜澤赤城
神社より勸請すと傳ふ年月不詳天正年間大胡城主大胡常陸介社頭の營繕料
及御供米として例年米五石宛奉納其後大胡城主牧野駿河守前橋城主酒井雅
樂頭松平大和守幕府代官林部善太左衛門武州岩槻城主大岡主膳正小笠原豊
後守に至る迄先例により奉納す

○八坂神社 大字膳村にあり往古石祠ありしを建久年間鎌倉の執事三善康
信社殿を新築し鶴ヶ岡八幡宮御分靈を勸請す三善氏滅後大胡高繁崇敬厚く

天正十二年社殿を造營し其後大破に付寛保元年前橋城主酒井氏の命に依り
再建着手延享元年十月落成す

○御靈神社 粕川村大字女淵にあり廿八柱を合祀祭神とす陽成天皇御宇元
慶年中上野大椽南淵朝臣秋郷此の地の大領主たるるとき崇祀し後菅公の神靈
を追祀す天文年中長尾顯長の臣荒井圖書允女淵城を守るに方りて再興せし
も社地狭小の爲め今の地に社殿を移せりと

此他神社は各村百三十有餘あるも由緒不詳に付省畧

○壽延寺 六供にあり代田山法門院と稱す比叡山延曆寺末にて人皇五十六
代清和天皇の勅願所にして慈覺大師貞觀三年三月草創なり前代田村に建立
せしを中興の祖了賢律師元享年中再建し末寺六ヶ寺あり榎町明開寺連雀町
八幡宮別當神宮寺田新町觀音寺六供常光寺天川村光明院片貝町無量寺下佐

鳥村光榮寺之なり當寺は大洞赤城明神の別當にて十四世曉海、南光防天海大僧正の命に依り東照宮山王權現を奉安し前橋城主代々の祈願所にして信仰最も厚く城主酒井重忠侯田畑を寄附され赤城山下三百六ヶ町村の祈禱所たり天保五年三月不幸回祿の災に罹り堂宇、赤城明神の里宮什寶悉く烏有に歸す第廿七世隨應上野東叡山寛永寺の命に依り天保六年住職後銳意再建を計り江戸諸侯を始め武家町家上野一ヶ國を勧誘し弘化二年より安政五年に至り大洞赤城大明神本宮幣殿里宮御相殿寺防等を再建す隨應万延元年寂す文久年中松平大和守前橋築城に際し廿八世高善地鎮祭を爲す明治三年神佛分離に際し時の住職圓成弟子秀麿を復職し赤城神社々主となり壽延寺は廢寺となりしを末寺常光寺住職辨晃慨然起て轉住し常光寺を合併し許可を得て明治十一年十一月今の地に移轉再建十三年十一月落成す爾來法筵倍々

盛なり當寺は今の紅雲町中學校敷地は元の壽延寺境内なり赤城里宮は元惣社村字石倉天滿宮社なり

末寺廢併合連雀町神宮寺は明治三年神佛分離にて廢合片貝町無量寺下佐鳥光榮寺明治七年合併廢寺天川光明院は壽延寺に合併全院境内墓地に寛政年中の横綱佐渡ヶ嶽澤右衛門の墓今尙有り（法名、強山道力居士）寛政七年三月十三日とあり、田新町觀音寺は壽延寺飛地境内に編入觀音堂本尊は大洞二年三月安置清水觀音の姨又は出世觀音と稱し信仰者頗る多く境内には老松大木並前橋積善會施療病室建築及全事務所あり、○片貝町無量寺本尊藥師如來にして靈像は行基菩薩の作にして秘佛の靈像なり遠近の信仰者絶へず參拜あり大正四年十二月壽延寺飛地境内に編入毎月八日祭典護摩修行あり

○善光寺 下川淵村字鶴光路にあり天台宗なり本尊阿彌陀如來當山は聖德太子佛法興隆の爲め本朝に四十八ヶ所如來の道場を興させ給ひし時の其一にして將軍賴朝公より御朱印三十三石の御寄進ありしなり

○善昌寺 大字力丸村本郷にあり臨濟宗なり本尊十一面觀世音應永十四年那波の城主從五位下那波式部少輔大江宗廣の勸請なり場内佛堂三宇鎮守堂あり

○龍藏寺 南橋村大字龍藏寺にあり天台宗なり本尊阿彌陀如來當寺は勝道上人赤城山開基の砌創草二世豪尊弘仁十一年談所と相成其後既橋城已來鬼門除祈禱被申付代々五拾石寄附有之處松下大和守に至り廿五石に減せらる寛保二年本堂庫裏焼失の際寶器舊記等燒盡延京三年酒井忠舉氏の再建あり

○光運寺 上細井字宿にあり天台宗本尊阿彌陀如來弘治二年慈圓和尚の創

建なり

○眞珠寺 下細井村字宮前にあり曹洞宗本尊虚空藏明曆四年の創立なり

○日輪寺 日輪寺村宮本にあり本尊不動明王人皇五十二代嵯峨天皇の弘仁二年正月上野の州長東宮學士穎人勅に依り造營せる者なり新義眞言宗にて豊山派總本山長谷寺末なり

○桂昌寺 北橋村眞壁にあり曹洞宗なり本尊地藏尊往古神谷三河守城山の壘を護衛の際施堂となす天正二年龍傳寺の末となり祐蓋和尚堂宇を創建す

○雙玄寺 大字八崎にあり曹洞宗にて本尊釋迦如來天正年中雙林寺十世操芝永旭禪師の開基なりしが文政十二年二月火災に罹り堂宇悉く灰燼に歸せり後當寺十世良順本堂を再建す現存のもの是なり境内廣く土地高燥尤も眺望に富む

○福増寺 大字津久田にあり曹洞宗にて正保元年十月雲峯閻悅和尚の創立なり

○珊瑚寺 石井村八幡にあり天台宗にて古三銅寺と號す大同年間の創立後梶原景時の族此地に隱遁し尼となり勝道の舊趾を慕ひ庵して地藏を安置し右大將及梶原父子の靈を慰すと代々尼寺の感あり永享の末長尾景仲此地に遊ひ蘭若を營み僧月江を住せしむ

○長桂寺 漆窪にあり文龜の頃城主長尾繁景の祖の創建なりと一時荒廢せるを慶長の頂僧宗中興せる者なり

○大聖寺 大字米野にあり天台宗なり寛永二年僧慶海なる者の草創にして中興圓海寶永の始に堂宇を完備せるも再來三回の焼失に罹り荒廢せるを十三世亮俊文政五年三月檀徒と謀り堂宇を造營す其後又々焼失に遭ひ安政二

年再建する者にして東叡山の眞末なり

○善勝寺 芳賀村端氣にあり天台宗にて大治四年聖慶法師の開基なり正嘉二年北條時頼沃田二百歩を賜ふ天文年中前橋城主長野某善勝寺と改稱す

○極樂寺 大字龜里にあり天臺宗にて本尊阿彌陀如來源賴朝公常盤御前廟修繕所の爲め建つるなりと

○宗玄寺 勝保澤村にあり曹洞宗にて小笠原信濃守秀政慶長十九年の開山なり

○興禪寺 大字三原田にあり貞觀元年比叡山無勤寺の開祖相應和尚の開基なり後文久二年三原田城主六郎義貫を大檀那となす此際諸堂を再建す天正十四年三原田落城の節兵火にて焼失後嘉永年中にも焼失明治二十九年現存の堂宇建設す

- 龍澤寺 西片貝村にあり設樂肥前守の開基なり
- 眞樂寺 駒形新田にあり眞言宗本尊は土面觀世音慶安元年僧新田眞辨法印の開基新田萬次郎の創立なり
- 勝念寺 大胡町にあり文祿三年行心の開基あり
- 本應寺 大胡町にあり日蓮宗本尊十界勸請正應四年日蓮上人の開基なり
- 萬善寺 茂木村八幡にあり天台宗本尊大日如來中興亮須和尚寛永年中の建立なり
- 圓城寺 茂木村嵩にあり天臺宗なり中興寛永五年全海の建立なり
- 蓮花院 下増田村にあり眞言宗なり天文年間荒砥村大室玉泉坊なる者の開基にして享保四年十一代の住職宥尊の代初めて今宮山蓮花院増田寺と稱し即ち當寺の開山なり其後元祿三年本堂改築明治二十年武州大師河原平間

寺本尊厄除弘法大師第一分身を本堂内に安置す

○西福寺 深津村天王にあり眞言宗本尊阿彌陀如來中興開山より今日迄廿世なり

○龍源寺 膳村にあり曹洞宗なり明應元年正月三善越前守の開山なり觀世音を安置す

○瀧澤不動院 廣野村字瀧澤に巍峨たる巖窟の中に一小堂を結び不動尊を安置す應永十一年七月一日上野邑樂郡佐貫庄司又太郎藤原道廣の鑄作に係る銅像なり、本堂は間口五間半奥行二間半別に御籠堂あり靈顯赫灼として遠近より賽者の絶ゆる事なし境域千九百十七坪甚だ幽邃にして特に精神病者の靜養に適す堂背約四十の處瀧澤瀑布あり尙胎内くぐり人穴大道龍等の奇勝あり

- 常鑑寺 水沼村にあり曹洞宗正觀音を安置す春翁慶陽和尚の開祖なり
- 醫光寺 上田澤村にあり眞言宗なり保延年間永嚴權少僧都の中興なり
- 祥禪寺 東村花輪にあり曹洞宗なり草創不詳慶長二年武州興善寺潭洲雲龍和尚を請し中興開山とす
- 普門寺 花輪村中野にあり曹洞宗寛永二年の創立にして雲龍和尚の開山なり
- 覺成寺 黒保根村上神梅にあり天台宗なり仁壽年間慈覺大師の創立寛永十八年慈眼大師の中興開祖なり
- 觀音堂 分郷八崎村にあり千手觀音を安置す大同二年正月の創立にして城主長尾氏の菩提所なり
- 長興寺 茂木村上の町にあり曹洞宗天正十八年稻垣平右衛門の開山なり

- 應昌寺 河原濱村西浦にあり天台宗慈惠大師の開基と云ひ寛政年中焼失再興せり
- 養林寺 堀越村殿町にあり淨土宗なり天正中牧野駿河守大胡居城の砌創立なり
- 長善寺 堀越村殿町にあり曹洞宗なり大胡左馬之助の開山なり
- 龍眞寺 新川村上宿にあり曹洞宗なり元和二年より明治十二年に至る二十世
- 安養寺 新川村にあり天臺宗なり延喜元年の開基にて中興寶曆元年俊海和尚再興す
- 祥雲寺 小林村前田にあり曹洞宗慶長五年龍源寺七世の孫輝翁善陽大和尚の開山なり

○名所古跡

八四

○大胡城趾 大胡町大字河原濱村にあり東西一町三十五間南北一町三十九間高さ十丈頂上平垣なり相傳ふ田原藤太秀郷の後裔足利成家本城を築き地名を氏とし大胡成家と稱し之を大胡氏の祖先とす壽永年中三世の孫實秀頼朝の幕下に屬し子孫累世居城す弘治元年宮内少輔勝行の時由良國繁の爲に落城し武藏に走り由良氏益田伊勢守を以て城代とす天正四年北條氏政伊勢守を敗り本城回復し再び大胡氏をして守らしむ同十八年北條氏と共に滅亡し徳川氏の有となり牧野右馬允忠成を城主とす元和三年牧野氏越後長岡に徙封し廢城の儘今日に至り荒蕪の裡纔かに殘壘を留め大胡神社、養林寺、金胎寺等の境内となれり

○山上城趾 新里村大字山上にあり足利太郎成行の孫俊胡の弟五郎高綱始めて此地に居り山上氏と稱す其子太郎高光頼朝に仕へ子孫相襲きて本城に居る之れ東上州四家の一あり永祿の頃山上藤七郎氏秀小田原北條氏の爲に攻落されて浪人とあり入道して道及と號す本城は北條氏の有となり兵を遣はして之を成らしむ天文二十四年謙信北條氏の成兵を撃退し大胡民部左衛門をして護衛せしむ廢城の年代詳ならず

○善城趾 善今膳に作る粕川村字膳村龍源寺前の岡にあり善は代々三善氏の居りし處なり天文の頃善彌四郎康道金山の成繁が旗下となる永祿三年善の城主備中守宗次謙信の命を受けて伊勢崎の砦を攻取る元龜三年宗次伊勢崎の萩田備後守と相謀て小俣の澁川相模守義勝が小田原參勤の際を窺て小俣を襲ひ戰死す同六月廿八日澁川横瀬と力を戮せて善を討ち怨を報す善の家臣守ること能はず齋藤右近なるもの幼主春松を輔け携て厩橋に走る善氏

八五

滅てより城は成繁の手に入り大胡民部左衛門澁川主膳を置く天正七年九月
武田勝頼東上州巡見の時素肌にて來り攻め城遂に陥る之を膳城素肌攻めと
言傳へり其後の城主詳ならず

武田三代記に曰勝頼素肌にて城を攻し例なし勝利を得るとも兵家の古實
を犯すへからすと制して引上んとするに城中より數百人突出し安中の備
に突き掛る土屋總藏敵味方れ間に馬を乗入れ押へて引かんとすれど北條
勢六具を差堅め敵は素肌なるが其所引すなど云に武田勢さらはとて一同
に引返し力戦すれば城兵防ぎ兼ね引入る脇又市一の宮左近太夫乗込み土
屋總藏二れ間一番乗す眞田考て水の手を切り清見清太夫城將を討取り義
兵七十餘人枕を並べて討死す殘兵皆落去り城竟に潰ゆ勝頼膳城素肌攻と
云は是也

○女淵城址 粕川村女淵にあり城主及び年月定ならず二宮系圖に觀應中足
利直義尊氏を亡さんとして上杉憲顯に攻められ敗走して足利に退くとあり
傳説雜記には是を上州女淵の大合戦と曰ふにや關東古戦録には景虎女淵の
小城を拔取り毛呂因幡守に與へて館林の加増とす云々新田正傳或問に永祿
二年謙信小奈淵圖書を攻落すとあり

○苗ヶ島城址 宮城村大字苗ヶ島村にあり溪路一里半許赤城山に入り宿の
平といふ平原あり其東山を桃井と云ふ桃井播摩守直常の城址也と傳ふ宿の
平より折れて西は湯の澤に至り東は瀑布に至る傳説雜記に據れば桃井播摩
守住すと云は審ならずと編者考ふるに舊跡の殘存する邊は若或は陣屋の類
にして城と云ふ程の者にては無しならん地方居民の談には是より東尾崎
は深澤に續けり想ふに芥澤、松島氏等が要害の爲めに築きしなるものなる

べし宿の平外三四ヶ所に現存せる石塔あり圓筒形の石に笠ありて更に一字の彫刻せるなし思ふに古昔領分境に建しものならんと

○深澤城址 粕川村大字深津村の毒島にあり四面高き岡にて中央の凹所七八反程の丘陵ありて其形恰も島嶼の如し其周圍は沼なりしも今は田地となる城主詳ならず口碑に據れば在昔此城土寇の攻むる處となりし時沼地深く且靈蛇ありて城を守護し堅固にして抜くこと能はず依て毒物を石臼にて搗碎し之を池中に投し靈蛇遂に死して城陥りたるとあり其石臼は今猶西北ある松林中に在存し鳥戰若し其石臼の淳水を飲めは直に斃ると云ふ傳古戦録に深津刑部少輔の名あり此地の住人ならんか

○深澤故壘 神梅の砦と云黒保根村大字神梅正圓寺の在る處にして古昔芥澤氏の居住せし處なりと云ふ蓋し黒川山中の芥澤松島氏は奥州安倍氏の後

裔なり宗任天喜五年の春源氏に降參し將軍頼義之を召連れ上洛す宗任の一族從類凡七百三十餘人跡を慕ふて洛に入らんとす頼義遮て曰多勢を供奉するは朝家に對する憚りあり且音信を東奥に通する便宜にもなるべしとて黒川山中を宗任の眷族なる芥澤松島氏に賜ふ依て代々此地を領し來れりといふ宗任も一旦上洛し後此地に住居ならんとも云へり

○不動城趾 北橋村大字八崎利根川の沿岸に在り長野左衛門尉の持城あり永正六年長尾伊玄越後の長尾爲景と心を協せ山の内の上杉に背く同六月上杉憲房大軍を帥て白井沼田の兩城を攻む沼田は降り白井陥る伊玄は不動山を守り翌七年白井へ歸城す元龜三年長尾景憲信玄の爲に白井を破られ八崎に退き天正九年白井に歸城す全十八年八崎先づ破れて白井落城し本城も亦廢滅せり

○大室城址 荒祇村大室にあり城址を「たゞ山」と云ふ平地にして館の跡あり長尾氏の支城なり家臣牧彈正之れを守る長尾 井齊憲景卒去の後彈正叛心あり二井齊の子鳥房丸天正十三年小田原より歸りて之を偵察し鷹野に托して彈正を襲撃し父子及び家僕を誅す其後事蹟未詳なり

○阿内壘址 下川淵村大字龜里の東北字城にあり東は端氣川に瀕す西南に大町宿前中屋敷等の小字あり蓋し此邊元阿内宿ならん宿前に幅三間長百間許の村道あり舊馬場の跡なりと云ふ又南端氣川の沿岸に櫓と稱する地名あり現今壘址は民有地となり森林四邊を圍繞し方二町許の回字形をなし溝塹の遺跡あり上野國志曰三輪右内なる者の住せし處なりと云ふ、口碑によれば永祿天正の頃右内此地より出て四隣を服従し勇武あり武田氏の旗下に屬せしが上杉氏に滅されしと

○新堀城址 下川淵村新堀の南字中島にあり平垣にして雜木叢生し現今認むるものなし、和田左衛門尉の居所也と、上野志曰領知行五百貫一城趾本丸二三郭今猶存すと、里俗相傳ふ天明三年信州淺間噴火の際利根川漲溢し沿岸村落皆水害を被ひり城趾埋没して濠嶺平垣となり舊城を失へりと按に和田左衛門尉信勝は今の高崎城即ち和田城主たり蓋し永祿天正の間和田氏は武田氏の旗下に屬す故に上杉氏に抗する際此地に壘砦を築造せしものなるべし

○赤城山 本郡の北境に崛起し海拔六千三百戸餘上毛三名山の一にして其名海内に著はる萬嶽を凌ひで傲然として北方十里の野に占據し英風宛然驍將の霸威を張るに相似たり而して之に隸屬する所のもの黒檜、鈴嶽、地藏、鍋割、篠倉の五岳とす就中黒檜嶽は赤城山中の高峯にして絶頂の眺望真に

雄大を極め隣國の山河を一眸の裡に聚め遙に富嶽、筑波の高嶺を雲烟渺茫の間に望み利根、渡良瀬の二流は脚下にありて東に走る其景真に一幅の丹青を展へたる如し、其他の群峯皆凡ならず奇峭天を衝き盤礴地に蟠り或は巨艦の風濤を横ざり帆檣已に折るゝも屹然動かざるに似たるものあり又嬌なるものは佳人翠黛を拂ふの風致を帶ぶ温として威あるものは朝士峨冠を戴くの氣象を呈し千態萬狀得て形容すべからず頂に大沼、小沼の二沼あり大沼は周圍一里十三町餘東西十八町四十四間南北十町廿間朝嵐暮靄管に風景の奇を添ゆるのみならず下流は利根川に入り沿道田畑の灌漑に資益し近時盛に凍氷を産し赤城氷として名物たりヤマメ、イワナ鮒、クキを産す又一種の富源たり、山の南腹に赤城神社あり由緒社格等は寫真判下に詳記せるを以て茲に畧す

○横野 昔より董の名所として萬葉集に見ゆる横野は赤城山の麓なる赤城原なるべしとの説あるも碓氷郡の眞光寺原が相當なるべし、赤城原元は數里の曠原なりしも今は秣塲を存し概ね開墾せり俗に熊谷草、敦盛草と稱する奇花珍草あり

○七ツ石山 粕川村大字深津村に在り此山は赤城山中荒山より起伏し來る山脉にして此地に斗出す山頂巨石多く其廣きものは數十人を座せしむべく皆鐵氣を含み半腹以上に至れば磁器忽ち其作用を失ふ東麓大澤川の畔字韮鑪澤に鐵塊多し古昔鐵を鎔解製せし地なりと傳ふ又絶頂より望めば利根、烏の諸川は蜿蜒一白田野の間を縫ひ淺間の烟富士の雪、日光筑波の青黛恰も畫の如く妍麗の風光愛す可雄渾の形象觀るべきもの悉く指顧の間に攢る

○釜ヶ澤 黒檜嶽の半腹巉岩屹立の深溪に在りて黒保根村大字下田澤に屬

す大小の深潭二所釜形を成す故に里俗雄釜雌釜と稱す兩岸壁立千仞一雙の屏風を對立せしが如く二釜を擁す所謂兩釜は中央凹處ある巨巖にして溪水潺々として雄釜より溢れて雌釜に注ぎ水、宗韻々琴を彈するに似たり二釜共に深さ丈餘廣さ六尺許水上一點の塵埃を止めず清冽掬すべし又之れ避暑の一仙境たり

○瓶石 黒保根村大字上田澤村瓶石山にあり高さ三丈許周圍六間の一大巨巖にして厚さ四尺幅六尺の石蓋ありて之を覆ふ巖は中心空洞にして深さ測るべからず形狀殆んど瓶に似たり故に此名あり是の空中に錢の類を投ずれば下底幽かにかつ然たる音響を發すと

○櫻石 渡良瀬川の河中宇中河原と稱する一孤島ありて茲に名石を産し櫻石と名く石面に櫻花の斑紋ありて優美愛すべし雅客之を賞翫して机上の珍

となす

○古碑 粕川村女淵の西北赤城神社の背後北崖にあり幅一尺三寸横七寸長さ四尺餘表面に日輪の形を彫る徑五寸文字磨滅して讀む能はず口碑相傳ふ之れ上野權大椽從七位上南淵朝臣秋郷の墓碑なりと眞偽定ならず

○友成塚 粕川村大字深津小字友成の田甫中にあり大胡入道成家の弟大胡次郎友成の墓なりと蓋し友成武功ありて深津の庄を領し此地に住居せりと云ふ

○古◎二基 粕川村に古墳二基あり一は字近戸にありて高さ凡て九尺嘗て發掘せしとありしに白石を以て石窟を構造し左右に圓石を推積す窟中に三角形の古鈴一箇一尺三寸餘の古刀一振鏃大小百餘箇其他馬具青管石青勾玉等ありしと、其一は字吉澤にありて瓢形をなす石室を二層に構造し一室に

人齒及金環、瑠璃珠、古刀等あり二室にも亦金環、古刀を藏す二基共に貴人の墳墓なるが如きも事蹟の傳ふる處なきは遺憾なり

○大黒塚 大胡町字堀越の東方鎮守社の南方にあり高さ三丈餘東西十一間南北八間餘元瓢形をなせしが文政年間破壊して舊狀を損じたれども今猶ほ二子山形を存す嘗て發掘の際擴中より古色蒼然たる五尺餘の埴輪及古鈴鏡其他齊器等を掘出せりと此古墳は元明天皇和銅七年冬十月丁卯上野守に任せられたる從五位大宅朝臣大國の墳墓にあらざるか大國、大黒、國音相通するを以て大國塚を何時しか大黒塚と音續し來りたるならんか墳墓の形狀等より稽ふれば常人の墓に非す必ず由緒正しき貴人の古墳なるべし

○新田塚 桂萱村大字上泉の東北隅にあり高一丈八尺周圍四十間面積三畝三步西北二方に石の玉垣を繞らす口碑傳ふる處に據れば之れ新田氏一族の

墳墓ありと今塚上に登り足を上げて蹈めばとうくたる音響あり蓋し塚中に櫃を存するならん

○栗生顯友墓 全村寶禪寺境内にあり碑面に梵字一字を刻し下に康永第四曆云々傍に庵主何々の文字あれども苔蝕磨滅して不詳相傳ふ之れ栗生顯友の墳墓なりと顯友は新田義貞の裨將にして膂力人に超へ射を善くす劍技に達し新田四天王の一人なり義貞の金ヶ崎に敗するや船田經政と共に其終る所を知らず然るに此地に墳墓あるは後世由縁ある者の建てしにや或は云ふ此は篠塚伊賀守の墳なりと孰れか是なるかを知らず

○狩野無幻の碑 敷島村大字津久田地内東南の山腹元寂照山順德寺の舊趾にあり無幻六才の時野田、草藤寺より來り該寺の養子となる長するに及び博學非凡の才あり修驗仙教院光旒字公晃無幻と號す洛の大善院に住す後三

井寺の住職となる初め東江源鱗に隨て書法を學び後ち晋唐古法を慕ひ遂に一家を成す庭田大納言の推薦に依り至尊へ千字文を書して奉る其名聲高し後大納言の養子となり文化六年寂す京都黒谷に葬る現嗣の保存せる位牌二あり

無幻の分 修學者兩峯正大先達勅傳法大阿闍梨知足院法印光旒大和尚
大納言の位牌 自性清淨院持進前黃門高雲巒月大居士
碑は文化十一年林德寺祐觀建とあり門人等の寄進なりと

全 神明町

製絲業 遠山篤次郎

電話 六五三番

全 岩神町

溫井製絲所

電話 四十七番

全

前代田町

細谷組製絲所

電話七三貳番

汽鐘汽全
諸機
製作所

國領町

若林鐵工場

電話四百四十番

前橋市諏訪町

田村製絲所

電話五〇六番

全

國領町

丸二製絲所

電話七百一番

前橋市萱町

一色製絲所

全 向町

須田製絲所

電話 四六五番

全 向町

石川製絲所

前橋市中川町

山本製絲所

全 新町

各種絲製
造絲
淀屋兼次郎

全 芳町

日本館製絲所

關口武平次

前橋市

㊦ 組前橋製絲所

電話長七百番

前橋市外三俣

㊦ 大正館製絲所

電話三二二番

前橋市北曲輪町

萩原醫院

全 神明町四一

横地醫院

全 國領町 (電話七六八番)

內產科 ●● 婦小兒科 小原澤醫院

院長 正七位勳五等醫學得業士 小原澤 通

前橋市本町

勝山織物工場

全 中川町

平林織物工場

全 田中町

中島織物工場

前橋市横山町

回生堂藥局

藥劑師 井出武雄

電話四三三四番
振替東京三三二六一番

全 細ヶ澤町

水肥 油料 石食 油鹽 中島政五郎

電話三十四番
振替(東京)一〇八一番

處方調劑
純良藥品
有效賣藥
滋養劑
各種消毒劑

廣瀨藥局

藥劑師 廣瀨敏雄

前橋市堅町橋際

前橋市堅町

すや薬局

電話 二五四番

全桑町

岩附屋藥局

藥劑師 鈴木愛三

白梅膏本舖

電話 四百三十八番
振替 三〇一七九番

前橋市立川町

肥料問屋

合資會社 野口商店

電話六一五番

全 一毛町

德用肥料加里灰製造所
養豚飼育所

前橋衛生會 關根道之輔

全 岩神町一一〇

旅館田中屋

横田リネ

前橋市岩神町觀民

高見澤製絲所

全 岩神町

玉絲撚絲 三枝製絲所

全 岩神町

玉絲製造 佐々木製絲所

前橋市才川町六六

眼科専門

青木明眼院

院主 青木與雄

前橋市立川町

牛馬
犬猫
診療
加藤家畜醫院

前橋市諏訪町
諏訪湯

久保田兼吉

全

相生町停車場通
大黒屋小谷本店

酒、醬油、味噌
清酢、漬物、佃煮商

生方源太郎

全

中川町

酒類醸造業

竹内庫之助

電話 七百三十三番

前橋市北曲輪町縣廳通

製造販賣

大島屋靴店

金垣政次

全

一毛町

村上太鼓店

全

立川町

豚牛肉商

信田牛肉店支鋪

前橋市一毛町
三河屋號
青乾物商
小松政吉

全 國領町

蹄鐵工場
原伊平

全 前代田町

蹄鐵裝着所
並雜貨店
市川支三郎

前橋市中學校前

大野口材木店
電話 三百四十一番

全 小柳町三五

平方材木店
電話 三百六十九番

前橋市外三俣
製丸蛹
造干
販賣
賣蛹柏
主任
須近
田藤
信廣
太次
郎郎
蠶蛹工場

前橋市芳町

泉 小池材木店

電話 五五六番

全

清王寺町字新井

紡績原料絹練石鹼
壓搾蛹製造販賣

△ 前橋蛹工場

電畧 サ ス 又 サ

全

天川原

蠶蛹乾燥工場

渡邊萬次郎

前橋六供

銘酒造 鴨川 日野屋酒造店

全

横山町

醤油、味噌醸造業

清水井商店 深町富八

全

神明町

飯塚内科 胃腸病小兒科 醫院

電話 五二一〇番

前橋市岩神町九

家畜内外科診察

獸醫學士 久野 久

前橋市向町

山岸製絲所

電話百三十二番

全向町

撚絲 折田製絲所

全小柳町

玉絲製造 中田製絲所

前橋市小柳町

國產真綿製造

於大正博覽會
各府縣共進會
展覽會
金銀銅牌受領

清水商店

全立川町

國產真綿製造

山崎美佐

前橋市萱町

平野屋號

須田製絲所

電話五百十一番

全萱町

第一工場
丸三製絲所

全萱町

太玉絲製造
木村製絲所

前橋市細ヶ澤町

藥劑師

本舖 中島福次郎

電話四百五十五番
振替東京三三二七七番

解熱新藥
晴眼水
救童丸
いろは散
カタル
藥神散

全 豎町

自然堂藥局

麗肌膏 本舖 藥劑師 東正一郎

電話二百四十二番
振替東京二一四七〇番

前橋市立川町繭市場
合資會社前橋商會

繭絲委 主任 酒井鹿藏

薄利 全 豎町

多賣 吳服 太物 足袋 商 近江屋本店
電話七二二番

海產 洋物 卸賣 全 藤倉商店
豎町角
電話三三五番
振替一二六七五番

前橋市新町
醬酒類
油類
荒味
物贈
小林幸八

全 小柳町

太田牛豚肉店

電話百六十四番

全 小柳町

玉絲製造
天笠製絲所

前橋市小柳町
上州特產
真綿製造販賣

新井豐吉

全 横山町

上州特產
真綿製造業

日高商店

| | | | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 會株 社式 | 會株 社式 | 會株 社式 | 會株 社式 | 會株 社式 | 會株 社式 | 會株 社式 | 會株 社式 |
| 群 | 三 | 群 | 前 | 明 | 上 | 上 | 第 |
| 馬 | 十 | 馬 | 橋 | 治 | 毛 | 毛 | 二 |
| 農 | 九 | 貯 | 商 | 商 | 貯 | 物 | 銀 |
| 工 | 銀 | 蓄 | 業 | 業 | 蓄 | 產 | 行 |
| 銀 | 行 | 銀 | 銀 | 銀 | 銀 | 銀 | 前 |
| 行 | 行 | 行 | 行 | 行 | 行 | 行 | 橋 |
| | | | | 支 | | | 支 |
| | | | | 店 | | | 店 |

前橋市細ヶ澤町

味岡製絲所

北川四郎

全小柳町

玉絲製造 今井製絲所

今井庄平

前橋市小柳町四十二番地

大川玉糸製絲所

須永要次郎

全 繭市場

繭絲委
托賣買

東

關

東

商

會

電話 二百十四番

全

繭 立川町
市場

三

三

全

商

會

電話 五八番

前橋市一毛町向原

巴

合名
會社

須永玉絲製絲所

主任 須永縫之助

全

一毛町

玉製絲業

橫

瀨

泰

助

全

才川町

卜

近

藤

製

絲所

電話 五六〇番

前橋市才川町

大塚製絲所

電畧(才)

全才川町

製絲業

小林嘉兵衛

全清王寺町

峰岸製絲所

前橋市才川町

染谷製絲所

電話五六七番

全才川町

若宮社

池田製絲所

電話七百二番

前橋市向町

庭野製絲所

電話 十二番

全 向町

共盛組製絲所

電 畧 (キセ)

全 一毛町

新英館製絲所

電話 五二三番

前橋市本町
繭絲委託買賣

永井商店

電話 五十五番

全 本町
繭絲委託買賣業

共立商會

電話 五一〇番

全 本町
玉繭絲委託買賣

不高橋商店

電話 三一三番

前橋市才川町

關本製絲所

電話 三二八番

全才川町

新勢館製絲所

小林金平

電話 四一九番

全小柳町七

細太玉絲荒井製絲所

前橋市豎町神明町通

電氣機械一式取付販賣

會社資關東電機商會

前橋市田中町

花崗石採掘

各國石材販賣

山田石材店出張所

全

一毛町

赤城興業組合

委員長

清水忠次郎

前橋市諏訪町

大澤家畜醫院

前橋市萱町

製絲諸器械

建築請負業

岡野重五郎

電話四百十三番

全 田中町

土木建築請負業

井上組出張所

新案特許二四四二二號

手島式火防用廻動ポンプ

新案特許一八一四〇號

手島式養蠶用安全暖爐

新案特許三三五七〇號

手島式薪炭用回轉暖爐

前橋市片貝町二九

井戸ポンプ製造部 手嶋邑五郎

前橋市南曲輪町

煉瓦製造

建築請負

小坂橋儀三郎

電話七〇九番

前橋市諏訪町

井岡式農具製作所

特許中耕兼用井岡犁
特許輕轉旋風器
製造元

全 橫山町

榮木屋號

海產商 **又** 佐藤 政吉

電話一五七番
振替東京一四三九一

前橋市細ヶ澤町

委絲 托繭 業 久保田藤太郎

電話五百十三番

全

越 細ヶ澤町
後屋號

藤田銅鐵店

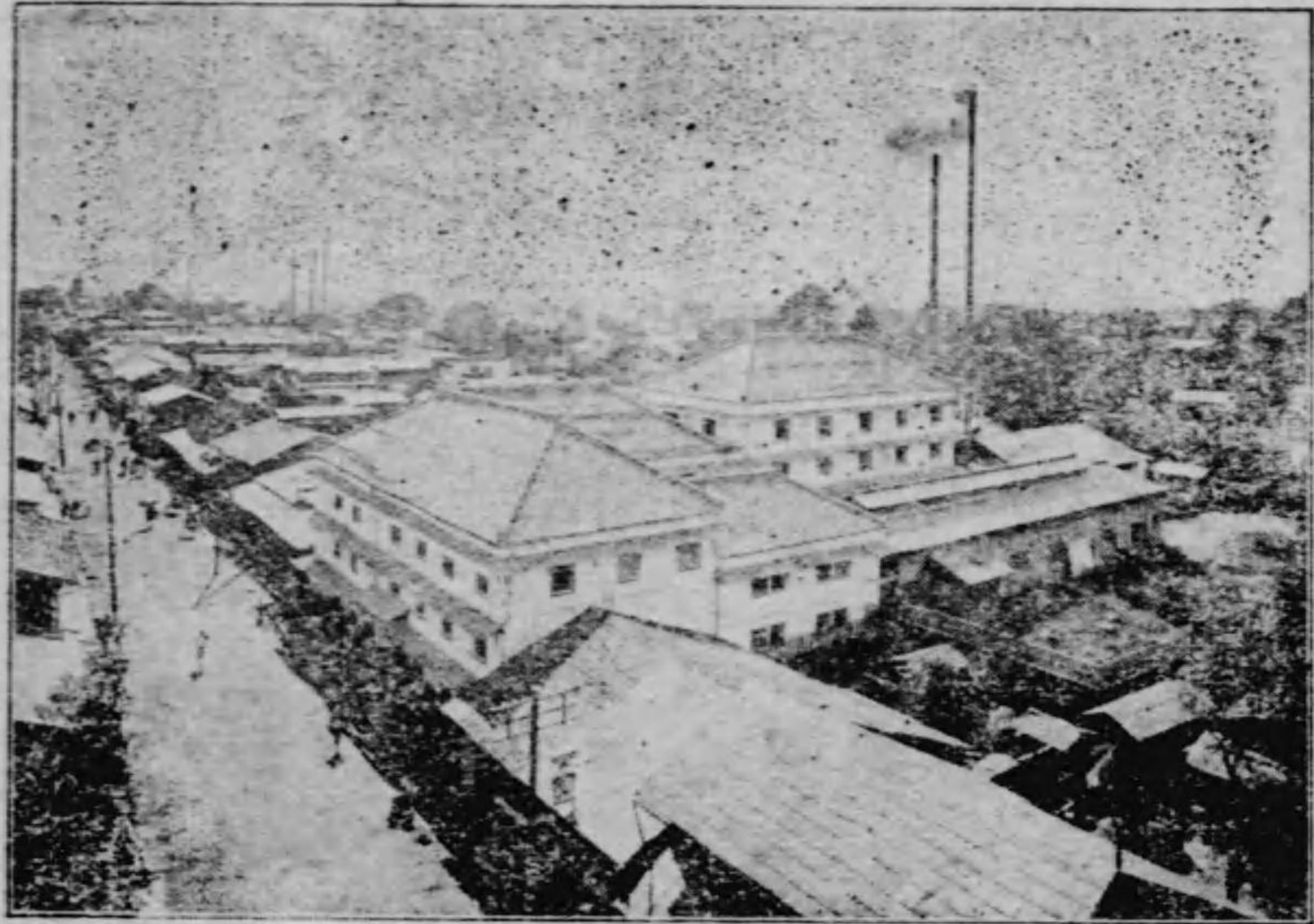
電話五三九番

全

土木建築請負業
一毛町

佐藤榮太郎

電話四六八番



前橋市向町



製絲共同組

電話 三三〇番
電 畧 (〇)

前橋市片貝町三八

鋼鐵及古鐵農具 鎌屋 號

打及物 コークス

木炭各種販賣

川村 淺吉

電話 七百十五番
振替口座(東京)一九〇四三番

前橋市細ヶ澤町
酒類、味噌、醬油販賣

澤村嘉平治

電話二一六番

●營業品目●

米、麥、雜穀類
大豆粕、種油、魚
蛹粕、過磷酸
硫酸安母尼亞、米
糠、配合肥料各種

前橋市新町

松井浪太郎

電話三百六十八番

○當店は薄利多賣を目的とし確實勉強を主とす、諺に蒔かぬ種は生ぬ大木も二葉より始まる

勢多郡富士見村

小見蠶業研究所

小見磯太郎
小見益男

上田蠶絲專門學校出身

春蠶種製造
秋蠶種製造

第一分場 石關鍋太郎
第二分場 船津清次郎

◎御照會次第即答可仕候

勢多郡富士見村大字石井
春秋蠶種製造業

晃城館 關口喜十

全 南橘村大字田口

蠶種製造業 高橋桂三郎

全 南橘村大字荒牧

秋蠶種製造業 養田鷺平

勢多郡南橘村大字田口

蠶種製造業 鹽原民之助

全 芳賀村大字小坂子

蠶種製造業 山田宇市郎

●二化性 千代鶴、青熟、白鶴
●一化性 下木村、日支一代交配種

全 芳賀村大字嶺

蠶種製造業 木暮孫市

●風穴專門 日支一代交配、千代鶴、太白龍、諸桂

●春 蠶 種

亦昔、赤熟、日支、日歐、交配種

●秋 蠶 種

長白龍、白鶴、日支、一代交配種

勢多郡南橘村大字田口

須川吾作

春蠶種 亦昔、又昔、中巢
秋蠶種 千代鶴、長白龍、青熟
日支一代交配種

勢多郡南橘村大字田口

蠶種製造業 塩原總平

南橋村大字關根

蠶種製造業

天海昇平

春蠶種

足立近治郎

秋蠶種
冷種

萩原長四郎

早田藤太夫

晚秋生種

關根養蠶傳習所

前橋市向町六六

材木商田中勝次

前橋市才川通、清王寺町

農道具及物
自轉車修繕販賣
黑田久女次

前橋市宗甫分三番地

差扱入店物
大竹屋

勢多郡富士見村大字横室
春秋蠶種
製造業
大友啓次郎
在來種、日支、支歐、一代交配種、

南橋村大字田口

春蠶種
製造業
鹽原龜三郎

前橋市宗甫分

監獄前旅館

差入店
植野屋治三郎

春蠶種
在來種
日支一代交配
青熟、又昔
勢多郡宮城村大字柏倉

蠶種製造業

風穴種
在來種
日支一代交配
千代鶴、白鶴
樺澤茂吉

勢多郡木瀬村大字上長磯

蠶種製造業
山口永三郎

●種類
千代鶴、白鶴、日支日日、一代交配種

全
荒砥村大字荒子

蠶種製造業
飯島喜平治


勢多郡下川淵村大字龜里
 風穴蠶種製造業
 大島稻三郎
 ●種類 白玉、千代鶴

勢多郡上川淵村大字朝倉
 桑苗蠶種製造業
 阿佐美常右衛門
 ●春蠶種 日支、日歐、歐支、交配種
 ●秋蠶種 白鶴、青熟、日夕、日支、交配種、桑苗各種

勢多郡下川淵村大字三公田
 蠶種製造業
 石原藤造
 石原力太郎
 高蠶種部主任
 高山社員
 ●種類 千代鶴、白鶴、長白龍、清國廿號、新昌長、日支一代交配種

勢多郡北橋村大字八崎
 蹄鐵工場
 清水胤三郎

勢多郡南橋村上細井鎌倉坂
 中島蹄鐵打替所

上州駒形町五丁目

 新井蹄鐵工場
 新井健治

勢多郡荒砥村大字富田

蠶種製造業 吉田包輔

勢多郡荒砥村二之宮

蠶種製造業 桑苗販賣 内田源十郎

勢多郡下川淵村

風穴蠶種製造 千代鶴、白玉 町田新三郎

勢多郡下川淵村大字龜里 古着屋號

蠶種製造業 三輪嘉治馬
●千代鶴、白龍、新元、日支一代交配種

勢多郡下川淵村大字龜里

風穴蠶種製造業 定方左右太

勢多郡下川淵村大字龜里

風穴蠶種製造業 定方渡平

勢多郡桂萱村大字上沖之郷

蠶種製造業

岩田岩次郎

勢多郡富士見村大字原之郷

小林家畜醫院

勢多郡富士見村大字米野

裝蹄所

柳井一太郎

勢多郡下川淵村大字新堀

風穴蠶種製造業

宮下小松

勢多郡下川淵村大字新堀

風穴蠶種製造業

田村竹次郎

勢多郡下川淵村大字龜里

蠶種製造業

誠養館

嶋田竹太郎

●種類

白露、千代鶴、下木村、日支一代交配種

勢多郡芳賀村大字嶺

風穴専門、日支、日日、一代交雜種

蠶種製造業
青木賢孝

勢多郡桂萱村大字上泉村

小兒病診療

大塚醫院

全

南橋村大字龍藏寺村一四七ノ一

加々美醫院

佐波郡上陽村大字樋越

田村醫院

勢多郡大胡町
酒造業

鵜飼長平

清酒登錄
商標 桂川
醬油御銘茶

群馬縣大胡町

大島福藏商店

酒類釀造業

勢多郡北橋村大字八崎

都丸源九郎

上毛勢多郡南橋村字田口

春秋蠶種

製造業

館主 高橋佐平次

刀川館 飼育主任 高橋庫平

上州勢多郡南橋村大字日輪寺

醤油醸造業

萩原芳造

上毛勢多郡南橋村大字上細井

銘酒加茂川
醸造元

野田竹藏

勢多郡芳賀村大字勝澤

清酒(群馬)
醸造元

平野順太郎

勢多郡芳賀村大字嶺

醤油醸造業

青木商店

全 芳賀村大字嶺

銘酒(要川)
醸造元

金海野丑太郎

上毛駒形町
近江屋號

酒類醬油
醸造販賣

森本正右衛門

振替口座一九三三五番

勢多郡深津村

清酒、直し
焼酎醸造業

柳澤竹次郎

全 新里村

醤油製造
味噌製造

鶴谷忠次郎

勢多郡東村花輪

酒類醸造元

太 小田商店
常盤屋

上州駒形町

酒類醸造業

馬場久三郎

全 駒形町

酒類醸造業

山 町田卯三郎

勢多郡木瀬村下増田

醤油醸造業

北爪勝太郎

勢多郡下川淵村龍門

井田醫院

全 下川淵村大字新堀

神田農園

富士見村大字横室村

阿佐美醫院

內科 外科 小兒科

勢多郡東村澤入

薪炭材木商 米田晴助

勢多郡南橋村田口

建築請負 青木建築部

青木三代吉

上毛赤城山湯之澤温泉

湯元 東屋

前原熊太郎



勢多郡富士見村大字原之郷
牛乳搾取販賣所

濟生舎
田中 小作

勢多郡北橋村大字八崎

碓氷社 橋組

全 富士見村大字時澤

製絲業
荒井多三郎

勢多郡東村大字澤入

花崗石採掘販賣業

渡良瀬興業株式會社

勢多郡大胡町

株式會社 三十九銀行大胡支店

足尾線神土驛

神土鑛泉湯元

吉澤初太郎

勢多郡芳賀村大字嶺
無菌牛乳搾取販賣

池田搾乳所

純良無菌
牛乳搾取
販賣所

上毛駒形町

仲健康舎 亀井仲次

上州大胡町
牛乳搾取販賣所

大胡牛乳店

上毛赤城山湯之澤溫泉

湯元新島屋

北爪源平

上毛赤城山瀧澤鑛泉

湯元北爪重太郎

上州赤城山湯之澤

湯元新東屋 前原忠太郎

上州赤城山大洞沼尻

湖畔亭

旅館青木屋

一面湖水に望み坐ながら釣魚を見

秋の紅葉は一眸の裡に聚め眺望絶佳

勢多郡北橘村大字八崎

藤井製絲所

藤井紋三郎

勢多郡富士見村大字原之郷
絹物製織所

品川新作

上毛富士見村米野

製織所
染物取扱

栗原清次郎

上州大胡町

茂木醫院

勢多郡富士見村大字石井
赤城沼窪牧場

星野佐平

勢多郡大胡町

醫師
全 疋田啓吉
萩原公庫

上州駒形停車場通

婦內
人外
科科

布
施
川
醫
院

勢多郡芳賀村大字嶺村

祐壽堂醫院

小內
兒
科科
青
木
彌
平

勢多郡木瀬村下大島

小内
兒科科
笛木
醫院

全 大胡町

醫師
淺野
牧次郎

勢多郡下川淵村龜里

婦產
人科科
定方
醫院

全 上川淵村大字上佐鳥

岳南堂
醫院

上州大胡町

③組玉絲製絲所

高崎市鶴見町

八千代館 淺香製絲所

勢多郡新里村

碓氷社新里組

勢多郡南橋村上細井

春蠶風穴蠶種 在來交配種製造 木暮角次郎

全 南橋村上細井

春蠶風穴蠶種 日支、支歐交配種 長谷川力太郎

全 南橋村大字關根

玉繭釜掛製造 繭絲商 根津富作

●製品目

曹達類
鹽酸類
硝石
硝酸鐵
木醋酸鐵

上野國倉賀野町

曹 高木製藥所

電畧タカ

◎夜間發電ノ際ハ岩鼻町高木ト記入願上候

上州駒形町
井野利八郎
各物商
電略(イ)

高崎驛前 電話一四二番

高崎倉庫株式會社

飯塚驛前 電話四一六番

高崎倉庫株式會社飯塚支店

勢多郡大胡町

日野屋號

正藥種商 辻好治

賜皇太子殿下覽榮

一府九縣聯合共進會三等賞受領
一府十縣聯合共進會二等賞受領

◎桑樹接木刀

勢多郡富士見村



農蠶具 關口國吉

小暮郵便局區内
委細照會御即答

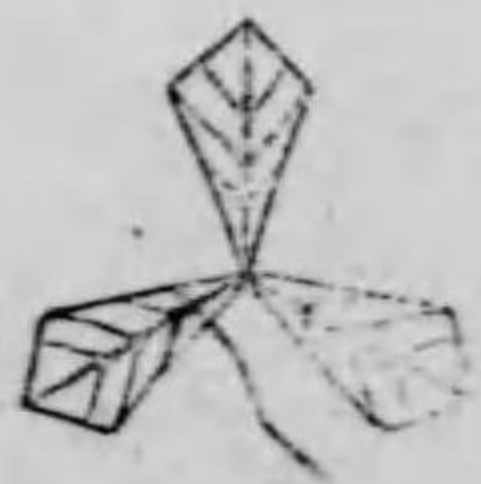
一府十四縣聯合共進會二等賞受領
大正博覽會褒狀受領

◎關口式飼馬切機械

前橋市北在南橋村大字荒牧

三葉屋

改良麥
製造業



關口住平工場

改良麥トハ機械力ニヨリテ純白ニ搗臼シタル大麥ニ高度ノ熱ヲ加ヘテ壁搾シタルモノニシテ最文明的ノ大麥加工法ナリ故ニ味ノ特ニ美ナルハ勿論工手數少ナキト粕ノ出デザル爲ニ價格最モ低ナル特徴ヲ有シ挽割及ビ從來ノ平麥等ト其選ヲ特ニス農家ノ便益ヲ計リ大麥ト交換及賃製造誠實ニ仕候

勢多郡木瀬村天川大島
梨果生産問屋
改耕園主
石原廣吉

勢多郡下川淵村鶴光路
榮養社
青木搾乳所

上州駒形町
雜貨米商
岡崎商店

上州木瀬村大字下大島
大島名産
梨子栽培本家
關口長左衛門

勢多郡大胡町
衛生理髮師
五十嵐織平

上州駒形驛前
木瀬運送店